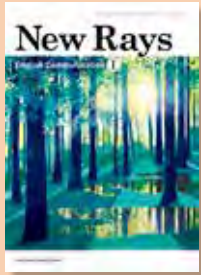


令和 7~9 年度

# 英語教科書のご案内



英語コミュニケーションⅠ CI 724  
 英語コミュニケーションⅡ CII 723  
 英語コミュニケーションⅢ CIII 721

## New Rays



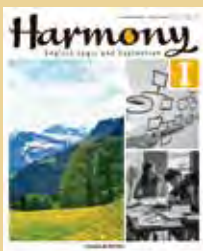
論理・表現Ⅰ 論Ⅰ718  
 論理・表現Ⅱ 論Ⅱ717  
 論理・表現Ⅲ 論Ⅲ713

## be smart



論理・表現Ⅰ 論Ⅰ717  
 論理・表現Ⅱ 論Ⅱ716  
 論理・表現Ⅲ 論Ⅲ712

## be clear



論理・表現Ⅰ 論Ⅰ716  
 論理・表現Ⅱ 論Ⅱ715  
 論理・表現Ⅲ 論Ⅲ711

## Harmony

New Rays

be Smart

be Clear

Harmony

デジタル関連教材

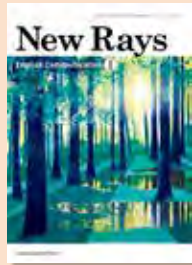
# 新課程に対応した教科書ラインアップ

## 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ

English Communication I・II・III

### New Rays

多文化共生時代を  
生きるための自己  
表現力と対話力を  
育てる



## 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

English Logic and Expression I・II・III

### be Smart

基礎 標準 発展

文法の定着を図り  
発信力を養う



対応参考書

### 総合英語 Evergreen

ていねいな解説で英語の「本質」を徹底理解！  
英文法の「なぜ？」がわかる参考書！

#### ■ 特長

- 1. 英文法の「なぜ？」をしっかりと理解**  
英文法を身につけるのに必要な、英文法ルールの「なぜ？」をわかりやすく、ていねいに説明しています。
- 2. 基本から発展までスムーズに学習できる構成**  
Part 1「これが基本」→ Part 2「理解する」→ Part 3「深く知る」という三部構成になっています。さらに、主要な章には、Part 4「確認する」を設けました。
- 3. 「わかりやすさ」を徹底追求**  
ことばでのていねいな説明や学習しやすいレイアウトはもちろん、イラストや概念図をふんだんに取り入れ、英文法を多角的に理解できるようになっています。



境タカユキ＝編著  
川崎芳人・久保田廣美・高田有現・  
高橋克美・土屋満明・Guy Fisher・  
山田光＝著 鈴木希明＝編  
A5判 672頁  
定価1,870円(本体1,700円+税)

詳細は  
HPへ



### 総合英語 be 4th Edition

#### ■ 特長

- 1. 英語の感覚を知る**  
なぜその文法を使うのかという意図や表現のニュアンスに触れる。
- 2. 使える用例が豊富**  
生徒がそのまま会話や英作文で使える。
- 3. 見やすく学びやすいレイアウト**  
必要な情報がすばやくつかめる。
- 4. 教科書 be English Logic and Expression I・II Smart/Clear に準拠**  
教科書Iと共通の例文なので、教科書との併用により効率的な学習ができます。

〈①導入→②定着→③発展の3ステップで英語表現が身につく〉

## be Clear

基礎 標準 発展

基礎を固めて確かな表現力を養う

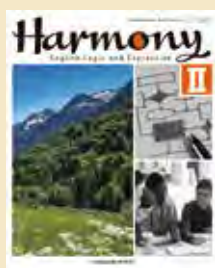
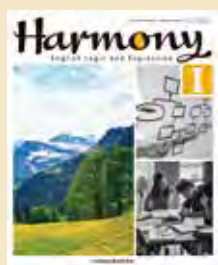


対応参考書

## Harmony

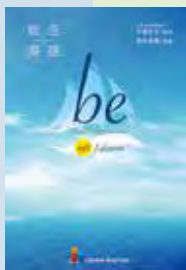
基礎 標準 発展

楽しく英語を使いながら文法力を身につける



対応参考書

英語の感覚を身につけ、表現へとつなげる



平賀正子=監修 / 鈴木希明=編者  
A5判 704頁  
定価 1,870円 (本体 1,700円+税)

詳細は  
HPへ

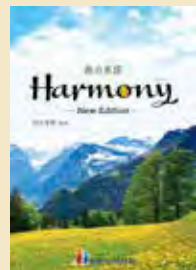


## 総合英語 Harmony New Edition

英語の感覚をやさしく解説  
基礎固めに最適の参考書!

### ■ 特長

- 1. 英語力の基礎となる項目を厳選。**  
イラストを使ったわかりやすい解説  
例文の発話状況とニュアンスをイラストで表し、わかりやすく解説。英文法が感覚とともに理解できます。
- 2. 見やすい紙面構成**  
無理なく学習できる見開き構成。重要な情報は目立つ色で示しているのので、学習のポイントをすばやくつかむことができます。
- 3. 着実に身につくスモールステップ方式**  
「基本を身につける」→「応用力を養う」→「表現につなげる」という段階に応じた構成により、英語力を着実に身につけることができます。
- 4. 教科書 Harmony English Logic and Expression I・IIに準拠**  
教科書Iと共通の例文なので、教科書との併用により効率的な学習ができます。



鈴木希明=編者  
A5判 512頁  
定価 1,738円 (本体 1,580円+税)

詳細は  
HPへ



# New Rays

English Communication ① ② ③

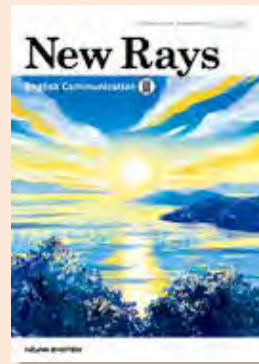
英語コミュニケーション I・II・III

	I	II	III
判型	B5変型		B5判
本文	192頁	212頁	152頁
新出語数	535語	732語	742語
総語数	6456語	8601語	12802語

CI 724

CII 723

CIII 721



詳細は  
HPへ



著者の  
メッセージ

## 新たな世界を照らし、現代の諸問題に光を当てる

慶應義塾大学名誉教授 田中 茂範



生徒が生きるグローバル社会では、さまざまな文化背景をもつ人とのやりとりが想定されます。そこで求められるのは、「違い」と向き合う力です。違いは、個性や多様性といった豊かさをもたらすと同時に、偏見や差別の原因にもなります。違いと向き合うには、自分のことをしっかり表現できる自己表現力〈たくましさ〉と、考え方の異なる他者との建設的な対話を成立させることができる対話力〈しなやかさ〉が求められます。英語教育の高次の目標は、まさにこの2つの力の実現にあると思います。

こうした思いを共有した編著者チームといわずに書店編集部で創り上げたのが、この『New Rays English Communication I・II・III』です。私たちはこのNew Raysというタイトルに、「新たな世界を照らし、現代の諸問題に光を当てる」という意味を込めています。そして、New Raysを構成するCHAPTERと物語は、その「光」によって照らされるさまざまな世界や問題に生徒たちを誘います。題材は、高次の目標を達成するのに必要と思われるカーデザインの力、癒やしの力、対話の力、探索の力など一に関連するものを精選しました。

そしてまた、New Raysでは、タスクの中で、タスクを通して英語力を身につけるという考え方を大切にしています。使うことによってしか使う力は育たないからです。生徒一人ひとりの中に息づく英語力を育てることに『New Rays English Communication I・II・III』が寄与できればと願っています。

### 著者紹介

田中 茂範

慶應義塾大学名誉教授

武田 修一

静岡県立大学名誉教授

阿部 一

英語総合研究所所長

井上 朋子

元常葉大学准教授

佐藤 芳明

PEN 言語教育サービス主任研究員

中村 俊佑

東京都立五日市高等学校教諭

畠山 由香子

お茶の水女子大学講師

細井 京子

コスモポリタン・インスティテュート主宰

村上 ひろ子

神戸市立真合高等学校教諭

森本 俊

玉川大学准教授

吉原 学

慶應義塾大学非常勤講師

渡辺 敦子

文教大学教授

渡邊 正三

元山形県立山形南高等学校教諭

本教科書では、生徒一人ひとりが確かな英語力を身につけられるよう、日々の学びをサポートするための工夫を随所に凝らしています。ここではその代表的なものをご紹介します。

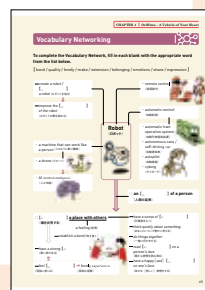
## 1

### 〈たくましさ〉を育てる

私たちの考える〈たくましさ〉とは「自己表現力」。自分で考え、判断し、行動する力です。

本教科書では、現代的な問題を受け止め、思考し、言葉にするプロセスを重視して、生徒一人ひとりの「自己表現力」を高めます。

- ▶ 現代を感じ、考える力を喚起する題材テーマ → pp.6 ~ 9
- ▶ 各課のパートごとに「発信 QUESTIONS」を設置 (I・IIのみ) → p.10
- ▶ 自分の言葉で表現する Recap & Retell
- ▶ 表現力の基礎をつくる文法・語彙のタスク

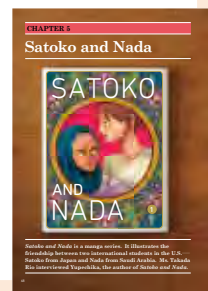


## 2

### 〈しなやかさ〉を育てる

私たちの考える〈しなやかさ〉とは「対話力」。異なるものと向き合い、協働を通してさまざまな問題を乗り越える力です。本教科書では、異なるものとの対話を追体験する題材や、グループ協働で行う「プロジェクト型活動」などにより、生徒一人ひとりの「対話力」を高めます。

- ▶ 異文化理解・人権などをテーマとする題材  
→ p.7(Ch.1, 5, 8), p.8(Ch.5, 8), p.9(Ch.5, 10)
- ▶ 「発信 QUESTIONS」の pair /share 活動 → p.10
- ▶ 「プロジェクト型活動」などを行う Make It Yours!

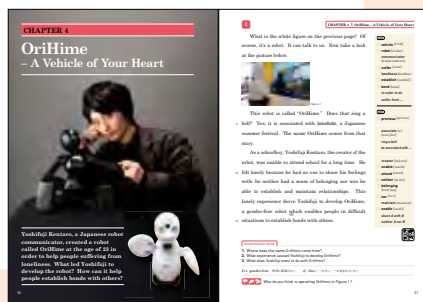


## 3

### 学びやすさ・教えやすさをサポート

確かな英語力を身につけられるよう、生徒にとっては学びやすく、先生方にとっては教えやすい教科書であることにも、最大限の配慮をしています。

- ▶ 学習の区切りがつけやすい見開き構成 → pp.10 ~ 11
- ▶ 音読練習などに活用できる「通読用英文」
- ▶ 予習・復習をサポートする生徒用教材 → p.12
- ▶ 毎日の授業をサポートする指導用教材 → p.13
- ▶ 英語による指導案も盛り込んだ使いやすい朱書本 → p.13



## I



### CHAPTER 1 The Future Is Yours

ニューヨーク出身のロバート・キャンベル氏がなぜ日本文学に興味をもち、その分野の第一人者になったのかを彼の幼少期から大学までの体験記から読み取り、これからの高校生活や将来について考える。



### CHAPTER 4

#### OriHime – A Vehicle of Your Heart

吉藤健太郎氏がオリヒメと呼ばれるロボットを開発した理由と、オリヒメによってどのような未来を思い描いているのかを知り、自らも社会に貢献する態度を養う。



### CHAPTER 8 A Loving Story

アメリカに住む若いカップルのリチャードとミルドレッドに起きた事件を通して、1960年代のアメリカが抱えていた問題を知り、だれにとっても平等な社会について考える。

## II



### CHAPTER 1 Words that Can Guide You in Life

夢をあきらめずに追いかけることで、必ず「知恵の言葉」やよき指導者に会うことができるというWHO 医務官の進藤奈邦子氏のメッセージを読んで、将来の職業や進路について考える。



### CHAPTER 4

#### The Story of Holly Butcher

今、生きている瞬間を大切にしてほしいというホリーさんのメッセージを読んで、自分や他者を大切にすることを養う。



### CHAPTER 8 An Ainu Girl Named Yukie

アイヌ語を残すために努力した少女の話を読んで、アイヌの文化について知る。また、言語の消滅によってどのような影響があるかについて考える。

## III



### CHAPTER 1 The Power of Poetry

アメリカの詩人アマング・ゴーマンさんが「TED Talks」で行ったスピーチの一部を読む。詩がこれまでに与えてきた影響力と、彼女がこれからどのような詩を書いていきたいのか、というメッセージを読んで、表現することの大切さについて考える。



### CHAPTER 8

#### What You Eat May Affect Your Environment

肉を消費することが環境にどのような影響を与えるのかという内容について、複数の研究者の研究結果を知ること、食と環境の関係について考える。



### CHAPTER 12 Fahrenheit 451

高校生活の最後に、1953年にレイ・ブラッドベリが書いたSF小説の一部を原文で読む。各SCENEの前にあるFOCUSに注目しながら読むことで、物語をより深く理解することを目指す。

## I

各種タスクを重視した多面的な構成となっています。各学期末にグループ協働による「プロジェクト型活動」を設定し、プラス2時間を配当しました。(I・IIのみ)

教材内容		配当時間
CHAPTER 1	<b>The Future Is Yours</b> アメリカ人で日本文学研究者のロバート・キャンベル氏が、自身の幼少期、日本文化との出会い、現在に至るまでの経験、そして高校生へのメッセージを語る。 <b>活動 Making a Speech</b> 過去の出来事が自分にどんな影響を与えたかを発表する。	7 文法 ①時制 ②基本的な文構造 語彙 興味・関心
	<b>The Power of Design</b> 本 CHAPTER 自体が「デザイン博物館」という設定。スタッフが館内を案内しながら、デザインの魅力、役割、人々に与える影響力や効果などについて紹介・説明する。 <b>活動 Reaching a Consensus</b> 身の回りのデザインのうち、どれが最も機能的かを考え、発表する。	7 文法 ①接続詞 ②V+O+do [形容詞] 語彙 デザイン
CHAPTER 3	<b>Plastic Is Everywhere</b> プラスチックごみは、自然界の生物や環境のみならず、人間の健康にも深刻な悪影響を及ぼすことを説明し、解決策を探ることで、地球環境保護の大切さを訴える。 <b>活動 Making a Poster</b> プラスチック汚染問題解決の方法を考え、ポスターにまとめる。	7 文法 ①現在完了形、現在完了進行形 ②受動態 語彙 水質汚染
	<b>OriHime — A Vehicle of Your Heart</b> ロボット研究者の吉藤健太郎氏が開発した人型分身コミュニケーションロボット“OriHime”について、その特徴や大切な役割について紹介する。 <b>活動 Making a Presentation</b> オリヒメの他の活用法を考え、ポスターにまとめて発表する。	7 + 2 文法 ①関係代名詞 [制限用法] ②過去完了形、過去完了進行形 語彙 ロボット 学期末のプロジェクト型活動
CHAPTER 5	<b>Satoko and Nada</b> 留学先でルームシェアする日本人とサウジアラビア人の2人の女子学生の成長を描いた4コマ漫画シリーズ「サトコとナダ」の著者、ユベチカ氏へのインタビュー。異文化交流、イスラム教などについて聞く。 <b>活動 Doing a Translation</b> マンガの日本語のセリフを英訳し、共有する	7 文法 ①to不定詞 ②動名詞 語彙 文化
	<b>The Voice of Children</b> インドのスラム街で、「子どもたちの声」と題する新聞を12～18歳の青少年たち自らがレポートし、発行している。貧困の惨状を世の中に訴えようとする彼らの奮闘を紹介する。 <b>活動 Making a News Report</b> ある状況を描写し、記者ふうレポートする。	7 文法 ①分詞の形容詞的用法 ②分詞構文 語彙 メディア
CHAPTER 7	<b>Human Habitation on Mars</b> 地球以外の太陽系天体の中で、最も人間が居住できる可能性があると考えられている火星について学ぶ。これまでの観測や探査で発見されたことや、人間が居住する上での問題点などを紹介する。 <b>活動 Taking a Position</b> 宇宙に関する情報を読み、宇宙に行きたいかどうかの立場を決める。	7 文法 ①助動詞 ②関係代名詞 [非制限用法] 語彙 宇宙
	<b>A Loving Story</b> 1950～60年代のアメリカ合衆国の人権問題について、実話に基づく映画「ラビング 愛という名前のふたり」(原題 <i>Loving</i> , 2016年、英・米合作)のストーリーを紹介しながら考察する。 <b>活動 Acting Out Different Roles</b> 本文の好きな場面を選び、会話を作ってグループで演じる。	7 + 2 文法 ①関係副詞 ②関係代名詞 what 語彙 法律・裁判 学期末のプロジェクト型活動
CHAPTER 9	<b>Edo, the Resilient City</b> 「火事と喧嘩は江戸の華」のこぼれに代表される江戸の庶民の回復力や力強さ、知恵を紹介する。自然災害の絶えない現代社会を生き抜く術を江戸時代の文化から学ぶ。 <b>活動 Making a Schedule</b> 留学生に自分たちの町を案内するプランを考え、旅程表を作る。	7 文法 ①仮定法過去、仮定法過去完了 ②as if + 仮定法 語彙 災害
	<b>A Quality Education for All</b> 学校に通うことができない子どもたちが6,300万人もいる現代の世界。教育と貧困の問題は深くかかわっていると指摘する永遼瑠(トワリ) マリールイズ氏へのインタビューを通して、問題の打開策を模索する。 <b>活動 Making a Poster Presentation</b> SDGsについて調べてポスターを作成し、発表する。	7 + 2 文法 ①動詞+名詞+that節 [wh-節/if節] ②強調構文 語彙 教育 学期末のプロジェクト型活動
READING PASSAGE 1	<b>The Window</b> 病院の一室でベッドを並べて横たわる2人の入院患者。窓際の患者が、起き上がれずにいるもう1人の患者に窓の外の風景を説明する。	3
READING PASSAGE 2	<b>The Tale of the Three Brothers</b> 旅の途中で死神に出会った3人の兄弟。3人すべてを殺してしまおうとする死神の罠に落ちなかったのはなぜなのか。	3
		計 82

# 教材内容・配当時間

## II

教材内容		配当時間
CHAPTER 1	<b>Words that Can Guide You in Life</b> WHO 医務官の進藤奈邦子氏がなぜ医師を目指したのか、さらに、なぜ危険な現場で目に見えない病原菌と闘い続けるのかを語る。 活動 <b>Interviewing</b> 著者への質問をペアまたはグループで作り、ベスト5を選ぶ。	9 文法 ①未来を展望して語る構文ネットワーク ②使役の構文 語彙 病気・医学
	<b>Stationery — Changing Our Lives for the Better</b> 私たちににとって身近な文房具の開発や進化の歴史を読み、文房具の未来について考える。 活動 <b>Show and Tell</b> 紹介したい文房具についてリサーチを行い、発表する。	9 文法 ①現在を語る構文ネットワーク ②完了形の受動態 語彙 文房具
CHAPTER 3	<b>Salt: More than Just a Seasoning</b> 塩は人間を含む生物にとって生命維持に欠かせないものである。生物と塩の関係について、生物の進化をさかのぼって考える。 活動 <b>Making a Speech</b> 塩のすごさを伝える原稿を作り、スピーチをする。	9 文法 ①判断を表す形容詞構文のネットワーク ②形式目的語構文 語彙 栄養・味付け
	<b>The Story of Holly Butcher</b> 27歳の若さで亡くなったホリーさんの最後のメッセージを読み、私たちの日常の出来事がいかに価値ある、かけがえのないものかを実感する 活動 <b>Letter Writing</b> 天国にいる Holly さんへ手紙を書いて、その内容について話し合う。	9 + 2 文法 ①頻度を表す構文ネットワーク ②複合関係詞 語彙 人生・死 ↑ 学期末のプロジェクト型活動
CHAPTER 5	<b>Welcome to Costa Rica: An Invitation to Ecotourism</b> エコツーリズムの定義を読み、発祥の地であるコスタリカでどのような活動が行われているかを知る。 活動 <b>Debate-in-Discussion</b> エコツーリズムに関するディベート・イン・ディスカッションを行う。	9 文法 ①否定構文のネットワーク ②冠詞の用法 語彙 観光・環境
	<b>Audio-Focused Reading</b> <b>The Empty Pot</b> 皇帝からもった花の種をめぐる物語を読む。	3
CHAPTER 6	<b>"The World Is Not So Simple — A Lesson from the Worldwide Bestseller, <i>Factfulness</i>"</b> <i>Factfulness</i> を紹介した文章を読み、どのようなデータを使って、どのように相手に伝えることが物事や世界情勢の正しい理解につながるかについて考える。 活動 <b>Note-taking</b> 講義を聞いて、要点をノートにまとめる。	9 文法 ①過去を回想して語る構文ネットワーク ②付帯状況 (with) の用法 語彙 事実・分析
	<b>CHAPTER 7</b> <b>The Psychology of Everyday Experiences</b> 日常のさまざまな例を通して、私たちの行動や心理の多くには社会心理学の理論に基づいた理由が存在することを学ぶ。 活動 <b>Doing a Skit</b> 社会心理学の理論についてのスキットを作成し、演じる。	9 文法 ①話し手の態度を示す構文ネットワーク ②助動詞+完了形 語彙 心理学
CHAPTER 8	<b>An Ainu Girl Named Yukie</b> 滅びつつあったアイヌ語を守るために奮闘したアイヌの少女知里幸恵さんを通して、アイヌの伝統・文化・言語の豊かさを知る。 活動 <b>Making a Translation</b> ペアまたはグループで物語を英訳し、朗読する。	9 + 2 文法 ①比較構文のネットワーク ②無生物主語構文 語彙 人権・平等 ↑ 学期末のプロジェクト型活動
	<b>CHAPTER 9</b> <b>The Miracle of the Abu Simbel Temples</b> 1960年代に水没の危機にあったアブ・シンベル神殿を救うために各国が協力し、奇跡のプロジェクトが行われたことを知る。 活動 <b>Reaching a Consensus</b> 日本の世界遺産ベスト5を選び、その理由を発表する。	9 文法 ①名詞節の構文ネットワーク ②「動詞+名詞+過去分詞」の構文 語彙 時代・出来事
CHAPTER 10	<b>Physics Goes a Long Way</b> ミチオ・カク氏が、なぜ物理学に興味を持ったのか、物理学にはどのような可能性があるかなどを語る。 活動 <b>Writing a Presentation</b> プレゼンテーションのための原稿を作成する。	9 + 2 文法 ①仮定の構文ネットワーク ②倒置 語彙 物理 ↑ 学期末のプロジェクト型活動
	<b>Appreciative Reading</b> <b>The Bracelet</b> ある生徒と先生の心温まる交流を描いた物語を読む。	3
		計102



## III

教材内容		配当時間
CHAPTER 1	<b>The Power of Poetry — Words That Give Us the Power to Change the World</b>	7
	アマング・ゴーマンさんがなぜ詩を書くのか、詩を通して何を表現しているのかを語るスピーチを読む。 活動 Presentation これまでに会った大切な言葉についてパラグラフを書き、発表する。 語彙 プレゼンの流れ	
CHAPTER 2	<b>What Makes a Good Life? — Lessons from the Longest Study on Happiness</b>	7
	「よい人生とはどういう人生か」という普遍的テーマについての研究結果を紹介するスピーチを読む。 活動 Presentation 人生で大切なものについてパラグラフを書き、発表する。 語彙 感情	
CHAPTER 3	<b>Mindset — Changing the Way You Think to Fulfill Your Potential</b>	7
	出来事をどう意味づけするかによって生き方が変わるというメッセージを読む。 活動 Debate-in-Discussion 考え方についてのディベート・イン・ディスカッションを行う。 語彙 ものの見方	
CHAPTER 4	<b>The Gut-Brain Connection</b>	8
	私たちの体内の意外な結びつきについて、科学的な観点から説いた文章を聞いたり読んだりして理解する。 活動 Presentation 腸のすごさについてのパラグラフを書き、発表する。 語彙 臓器	
CHAPTER 5	<b>Wa “Holy Harmony”</b>	8
	外国人の視点から日本文化について考察した2つの文章を読む。 活動 Discussion 2つの文章を比較し、共通する点について話し合う。 語彙 言語	
CHAPTER 6	<b>The Scientific Method — Seeking the Truth</b>	8
	科学的な研究方法の基盤となったガリレオの考え方の意義についての論述などを読む。 活動 Presentation 科学者についての伝記を書き、発表する。 語彙 学問	
CHAPTER 7	<b>How Associative Memory Works: the Marvels of Priming</b>	8
	実験結果を紹介した文章を読み、プライミング効果とは何かを理解する。 活動 Presentation プライミング効果についての実験を行い、その結果を発表する。 語彙 記憶	
CHAPTER 8	<b>What You Eat May Affect Your Environment</b>	9
	食文化と地球環境の関係についての研究結果を聞いたり読んだりして理解する。 活動 Speech 本文に出てきた新事実に関するスピーチ原稿を書き、発表する。 語彙 食	
CHAPTER 9	<b>Mass Extinction: Why Are They Gone?</b>	9
	絶滅危惧種の問題を取り上げた記事を読み、生物が絶滅するとはどういうことかを考える。 活動 Discussion 絶滅を防ぐために何ができるかについて話し合い、グループの意見をまとめる。 語彙 絶滅	
CHAPTER 10	<b>The Soul of Meiji</b>	10
	明治時代の日本に滞在したモースの日記を読み、明治初頭の日本がモースにどう映ったかを知る。 活動 Presentation 日本固有のものを外国人に説明するパラグラフを書き、発表する。 語彙 理解	
CHAPTER 11	<b>A Forest on Caffeine? — How Coffee Can Help Forests Grow Faster</b>	9
	コーヒーが森林再生のカギとなるかもしれないというプロジェクトについて読み、その仕組みを理解する。 活動 Writing a Manuscript 環境保護のためのスローガンとそれを選んだ理由を書き、発表する。 語彙 生態系	
CHAPTER 12	<b>Fahrenheit 451</b>	10
	1953年に書かれたSF小説を読み、物語の世界観を味わう。	
		計100

1 学期

2 学期

3 学期

# 本課の構成

I

## 1. 導入

効果的なイメージと導入文で、内容への興味をもたせ本文に誘導します。

II

## 2. 本文 (Part 1 ~ 4)

パートごとに語注・質問を配置しました。テンポよく学習を進めることができます。

### 新語・イディオム

- 重要語にチェックボックスを設け、太字にしました。
- イディオムの例文は巻末の Idiom Sentences に掲載しました。

### 導入イメージ

本文の内容に関連するイメージを印象的なデザインで提示。生徒の興味を引き出します。

### イメージ

豊富な写真・イラストで理解をサポートします。

**CHAPTER 4**

# OriHime

## - A Vehicle of Your Heart

Yoshifuji Kentaro, a Japanese robot communicator, created a robot called OriHime at the age of 23 in order to help people suffering from loneliness. What led Yoshifuji to develop the robot? How can it help people establish bonds with others?

1 What is the white figure on the previous page? Of course, it's a robot. It can talk to us. Now take a look at the picture below.

This robot is called "OriHime." Does that ring a bell? Yes, it is associated with *tanabata*, a Japanese summer festival. The name OriHime comes from that story.

As a schoolboy, Yoshifuji Kentaro, the creator of the robot, was unable to attend school for a long time. He felt lonely because he had no one to share his feelings with: he neither had a sense of belonging nor was he able to establish and maintain relationships. This lonely experience drove Yoshifuji to develop OriHime, a gender-free robot which enables people in difficult situations to establish bonds with others.

**Comprehension Check**

1. Where does the name OriHime come from?
2. What experience caused Yoshifuji to develop OriHime?
3. What does Yoshifuji want to do with OriHime?

14 gender-free 性別に関係のない ぐんごうフリー: ~がない、~が含まれていない

Who do you think is operating OriHime in Figure 1?

**QRコード**

新語と本文の音声(約130WPM)が聞けます。  
\* 通読用英文では速読音声(約130WPM)が聞けます。

### 導入文

本文内容への関心を高めたり、予備知識を問うたりして、スムーズな導入を図ります。問答やディスカッションなどの活動にも使えます。

### 発信 QUESTIONS

- 各パートに設置。単なる内容理解の確認ではなく、本文の内容に関する自分の意見や考えを問います。1人で考える **think**、2人で話す **pair**、複数で話す **share** の活動から選べます。
- 発信に使える表現を、巻末の Expressions for Communication にまとめました。

### QRコード

新語と本文の音声(約130WPM)が聞けます。  
\* 通読用英文では速読音声(約130WPM)が聞けます。

### 内容理解問題

各パートに設置。2~3問の質問で内容理解を確認できます。

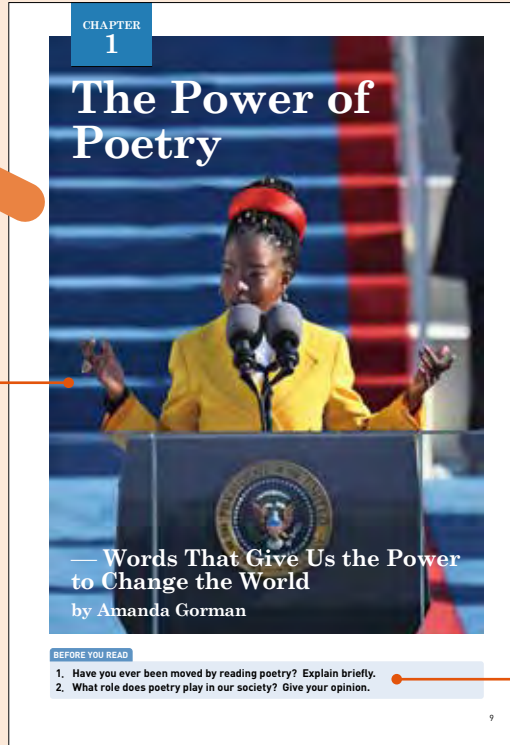
III

1. 導入

効果的な写真と質問で、内容への興味をもたせます。

図版

本文に関連する写真またはイラストを掲載しました。



質問文または導入文

本文の内容に関する質問に答えることで、本文の内容を推測します。

2. 本文

本文をパート分けせず、一気に英文を読むスタイルです。

本文

本文理解の助けとなる写真やイラストは掲載していません。入試問題に近い形式で英文を読むことが可能です。

1 I have two questions for you. One — whose shoulders do you stand on? And two — what do you stand for? I answer them with these words: I am the daughter of Black writers who were descended from freedom fighters who broke their chains and changed the world. They call me.

2 Most of my life, I was terrified of speaking up because I had a speech impediment, which made it difficult to pronounce certain sounds. And I felt like I was fine writing on the page. But once I got on stage, I was worried my words might jumble and stumble. What was the point in trying not to mumble these thoughts in my head if everything's already been said before?

3 Poetry is interesting because not everyone is going to become a great poet, but anyone can be, and anyone can enjoy poetry. And it's this openness, this accessibility of poetry that makes it the language of people. Poetry has never been the language of barriers; it's always been the language of bridges. And it's this connection-making that makes poetry powerful, but also makes it political.

4 One thing that irritates me is when I get a phone call asking me to write a poem and the person on the phone says "Don't make it political," which to me sounds like I have to draw a square, but not make it a rectangle, or build a car and not make it a vehicle. It doesn't make much sense because all art is political. The decision to create, the artistic choice to have a voice, the choice to be heard is the most political act of all.

5 Poets have this phenomenal potential to connect the beliefs of the private individual with the public, the population, the political movement. I really want you to try to hear the ways in which poetry is actually at the center of most political questions about what it means to be a democracy. Maybe later you're going to be at a protest, and someone's going to have a poster that says, "They buried us, but they didn't know we were seeds." That's poetry. You might be in your U.S. History class, and your teacher may play a video of Martin Luther King Jr. saying: "We will be able to bow out of" This mountain of despair a stone of hope." That's poetry.

6 So you see, when someone asks me to write a poem that's not political, what they're really asking me is to not ask charged and challenging questions in my poetic

work. That does not work, because poetry is always at the pulse of the most dangerous and most daring questions that a nation or a world might face. What path do we stand on as a people, and what future as a people do we stand for?

7 Poetry is not really about having the right answers. It's about asking the right questions about what it means to be a writer doing the right thing. And my reaction is to pay honor to those people who used their pens to roll over boulders so I might have a mountain of hope on which to stand so that I might understand the power of telling stories that matter, no matter what. So that I might realize that if I choose not out of fear, but out of courage to speak, then there's something unique that my words can become.

8 It might feel like every story has been told before, but the truth is no one's ever told my story in the way I would tell it as the daughter of Black writers who are descended from freedom fighters who broke their chains and changed the world. And one day, I'll write a story right by writing it into tomorrow on this earth more than worth standing for. Thank you.

(643 words)

**New Words and Phrases**

descend [dɪ'send]    terrify [tə'raɪə]    impediment [ɪm'pi:dɪmənt]    jumble [dʒʌmbl]    stumble [stʌmbl]    descend [dɪ'send]    accessibility [æksə'sɪbəlɪtɪ]    heritage [hɪ'reɪdʒ]    irritate [ɪ'reɪt]    rectangle [ˌrɛktəŋɡl]    artistic [ɑ:'tɪstɪk]    phenomenal [fɪ'nɒmɪnəl]    democracy [dɪ'mɒkrəsi]    protest [pə'test]    awe [əʊ]    poetic [pə'etɪk]    pulse [pʌls]    daring [dɑ:'ɪŋ]    boulder [ˈbəʊldə]    on one's shoulders    stand for...    roll over...

Amanda Gorman [ə'mɑ:ndə ɡɔ:mən]    アマンダ・ゴーマン (2001年9月1日生)

Martin Luther King Jr. [mɑ:'tɪn lu:ðə kɪŋ dʒr]    マーティン・ルーサー・キング・ジュニア (アフリカの戦士、黒人公民権運動の指導者)    how — out of...    一歩引いて...を

QRコード

新語と本文の音声（通常と速読の2種類）を聞くことができます。

新出語句など

本文のあとに新出単語、イディオム、語句解説をまとめました。

## ● 生徒用教材 ●

## I / II / III 準拠

## ■ WORKBOOK Standard I / II

(本冊各 72 頁, 解答・解説書各 72 頁)

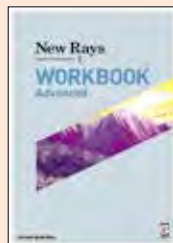
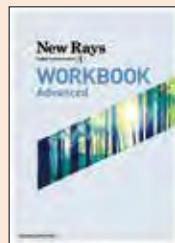
- ・教科書の文法・語彙・慣用表現を身につけるためのワークブック
- ・教科書の文法事項の解説+練習問題頁もあります。



## ■ WORKBOOK Advanced I / II

(本冊 I:116/II:112 頁, 解答・解説書各 104 頁, 英文分析シート I:10/II:20 枚 (バラ))

- ・教科書の本文を使った読解問題+文法・語彙・慣用表現問題を収録
- ・各課末には総合問題を収録しました。



## ■ WORKBOOK III (本冊 96 頁, 解答・解説書 88 頁)

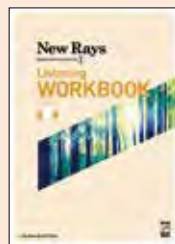
- ・教科書の予習・復習に使えるワークブック
- ・総合問題で本格的な入試形式問題に挑戦できます。



## ■ Listening WORKBOOK I / II

(本冊各 72 頁, 解答・解説書各 48 頁)

- ・教科書本文を使って音声を確認し, 声に出して身につけるワークブック
- ・QRコードから音声聞けます。音声再生アプリ「いいずなボイス」対応



## ■ 学習ノート I / II

(本冊 I:96/II:104 頁, 解答・解説書 I:48/II:44 頁)

- ・教科書本文の難しい文構造などの解説とサマリー問題を収録
- ・左頁は行間に板書を書き写すなどして, ノート代わりに使えます。
- ・QRコードから音声聞けます。音声再生アプリ「いいずなボイス」対応

■  生徒用音声 CD I / II / III (各 2 枚組)

- ・生徒が予習・復習に使用できる CD

## 指導資料セット I / II / III ※ III は①②③のセットになります。

### 1 指導書本冊 ※単体 (PDF) での販売もあります。

- ・指導の際の指針、授業の展開案、用法の解説など、教科書を使いこなすための情報が満載です。
- ・解説中に板書例、コアイメージ、コーパス情報などを取り入れました。

各パートに注意すべき表現と読みのポイントを提示



板書例を多数掲載

### 2 Teacher's Book (朱書本) ※単体での販売もあります。

- ・教科書の紙面に解答、スクリプト、音声 CDトラック、語句や文法の解説などの情報を掲載しました。挟み込み頁で各パートの英語の指導案を提示しました。
- ・DVD-ROM の指導用パワーポイントデータと連動しています。

### 3 題材資料集

- ・題材の背景知識など、各課の内容をより深く理解することができる情報を日本語で解説しています。
- ・コピーし配付してお使いいただけます。

### 4 I: 表現集 / II: DVD-ROM データサンプル集

- ・表現集：英語で発表、やりとりを行うために必要な表現をまとめました。
- ・DVD-ROM データサンプル集：収録データの紙面見本と特長を紹介しています。

### 5 指導用データ DVD-ROM



- ・プリント作成などに使っていただけるさまざまなデータを収録
- ・PCを使った授業で使っていただける「指導用パワーポイント」を収録 (→ p.39)

#### 【収録内容】

- |                   |                             |                |
|-------------------|-----------------------------|----------------|
| ①教科書テキスト          | ⑦配布プリントデータ                  | ⑬教科書写真・イラストデータ |
| ②解答例・音声スクリプト・日本語訳 | ⑧ディクテーションシート                | ⑭定期テスト問題例      |
| ③フレーズリーディング用データ   | ⑨ Extra Reading             | ⑮観点別評価規準例など    |
| ④サマリーデータ          | ⑩ Make It Yours! 活動シート      | ⑯指導用パワーポイント    |
| ⑤単語・イディオムリスト      | ⑪文法補充問題                     | ⑰文法解説パワーポイント   |
| ⑥内容理解補充問題         | ⑫ Vocabulary Networking シート | ⑱指導書別冊 PDF     |



### 指導者用音声 CD I / II (各 12 枚組) / III (10 枚組)

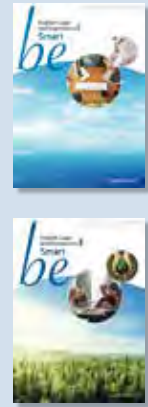
- ・新語・本文 (通常、ハイスピード、リピートポーズ付き) ・リスニング問題音声などを収録

be Smart

文法の定着を図り表現力を養う

例文は英文のみ

- ・問題は項目直下に配置
- ・活動問題 **TASK** 多め
- ・4~7問
- ・「やり取り」「発表」「書く」をマークで表示
- ・語句ヒント少なめ



◀ I 教科書 pp.26-27

be Clear

文法を軸に確かな表現力を養う

例文と日本語訳を巻末に掲載

**INTERACTIONS 例文・日本語訳**

① I like cats very much.	私は猫が大好きです。
② My uncle has two cars.	私の伯父は2台の車を所有しています。
③ I usually get to school at 8:30.	私はいつも8時30分に学校に着きます。
④ My mother teaches biology at a high school.	私の母親は高校で生物を教えます。
⑤ I'm writing an essay for my English class.	私は英語の授業のために論文を書いています。
⑥ I think my cat is getting fat.	私の猫が太りすぎていると思います。

- ・問題は項目直下に配置
- ・文法問題 **CHECK** 多め
- ・4~6問
- ・「やり取り」「発表」「書く」をマークで表示
- ・語句ヒント多め



◀ I 教科書 pp.22-23

Harmony

楽しく英語を使いながら文法力を身につける

例文の右に日本語訳を掲載

- ・問題は項目直下に配置
- ・ペアワークを含む基礎的な設問
- ・3~4問
- ・語句ヒント・解答例多め



◀ I 教科書 pp.20-21

# に応じた選択が可能な3レベル

	be Smart		be Clear		Harmony	
	I	II	I	II	I	II
レベル	標準～発展レベル		標準レベル		基礎レベル	
判型	B5判		B5判		AB判	
本文頁数	152頁	128頁	152頁	120頁	128頁	112頁
レッスン数	23レッスン	15レッスン	20レッスン	15レッスン	18レッスン	15レッスン

## ● Start-Up

Start-Upの英文	<ul style="list-style-type: none"> <li>3往復の会話</li> <li>和訳なし</li> <li>やや難しい表現を含む長めの会話文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>100～140語の英文</li> <li>巻末に和訳あり</li> <li>標準レベルの長めの英文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2.5往復の会話</li> <li>90～110語の英文</li> <li>巻末に和訳あり</li> <li>標準レベルの長めの英文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2～2.5往復の短いコミック形式の会話</li> <li>巻末に和訳あり</li> <li>基礎レベルの短めの英文</li> </ul>
	EXPRESSIONS	<ul style="list-style-type: none"> <li>細かいニュアンスの違いや使い方も解説</li> <li>表現例多め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュアンスの違いや使い方も解説</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会話文から該当表現を探す</li> </ul>

## ● INTERACTIONS

1課の学習文法項目	4項目	4項目	3項目	3項目
例文と解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>8つの基本例文</li> <li>和訳なし</li> <li>標準＋発展的な学習項目をカバー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7つの基本例文</li> <li>巻末に例文一覧（和訳付き）あり</li> <li>標準的な学習項目をカバー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6～8つの基本例文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6つの基本例文</li> <li>基礎的な学習項目をカバー</li> </ul>
CHECK/TASK	<ul style="list-style-type: none"> <li>「やり取り」「発表」「書く」のTASK多め</li> <li>指示文日本語</li> <li>指示文英語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文法確認問題のCHECK多め</li> <li>指示文日本語</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>CHECKはなし</li> <li>「やり取り」「話す」「書く」を含む基本的なTask、イラスト多用</li> <li>指示文日本語</li> </ul>
VOCABULARY	<ul style="list-style-type: none"> <li>より多くの活動に利用できる語句を紹介</li> <li>語句の和訳なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動に利用できる語句を紹介</li> <li>語句の和訳あり</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>発信する際に役立つ語彙・フレーズを紹介</li> <li>語彙・フレーズの和訳あり</li> </ul>

## ● ACTIVE LEARNING

SHARE	<ul style="list-style-type: none"> <li>例を参考にして、ペア・グループでの「やり取り」「発表」の活動</li> <li>解答例あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>例を参考にして、ペア・グループでの「やり取り」「発表」の活動</li> <li>解答例あり</li> <li>達成目標1つ</li> <li>指示文日本語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>例にならい、スモール・ステップを踏んでペア・グループでの「やり取り」「発表」の活動</li> <li>活用できるフレーズを掲載</li> <li>達成目標1つ</li> <li>指示文日本語</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>達成目標2つ</li> <li>指示文日本語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピアレビュー項目あり</li> <li>指示文英語</li> </ul>				
WRITE	<ul style="list-style-type: none"> <li>空所補充で作文例を完成させ、40～60語の英文を「書く」活動</li> <li>エッセイ・説明文などさまざまな状況、形式の英文を「書く」活動</li> <li>達成目標2つ</li> <li>指示文日本語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒントを参考に80～140語の英文を「書く」活動</li> <li>解答例あり</li> <li>手紙・日記などさまざまな状況での「書く」活動</li> <li>達成目標1つ</li> <li>指示文日本語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スモール・ステップで「書く」活動</li> <li>ヒントを参考に50～80語の英文を「書く」活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作文例にならって「書く」活動</li> <li>ヒントあり</li> <li>達成目標1つ</li> <li>指示文日本語</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ピアレビュー項目あり</li> <li>指示文英語</li> </ul>				
INTERVIEW	—	トピックに関連した問いに自分の意見を述べる	—	トピックに関連した問いに自分の意見を述べる	—	
発信活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーチ</li> <li>パラグラフ・ライティング</li> <li>プレゼンテーション</li> <li>論理的な考え方</li> <li>ディベート</li> <li>ディスカッション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクリプト・ライティング</li> <li>スピーチ</li> <li>プレゼンテーション</li> <li>ディベート</li> <li>ディスカッション</li> <li>パラグラフ・ライティング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーチ</li> <li>パラグラフ・ライティング</li> <li>プレゼンテーション</li> <li>論理的な考え方</li> <li>ディベート</li> <li>ディスカッション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクリプト・ライティング</li> <li>スピーチ</li> <li>プレゼンテーション</li> <li>ディベート</li> <li>ディスカッション</li> <li>パラグラフ・ライティング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーチ</li> <li>パラグラフ・ライティング</li> <li>プレゼンテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーチ</li> <li>プレゼンテーション</li> <li>ミニディベート</li> <li>パラグラフ・ライティング</li> </ul>

be Smart

be Clear

Harmony



論理・表現 I・II・III

	Smart	Clear
レベル	標準～発展	標準
判型	B5判	
本文 I	152頁	
本文 II	128頁	120頁
本文 III	120頁	112頁

## Smart

- 論 I 718
- 論 II 717
- 論 III 713

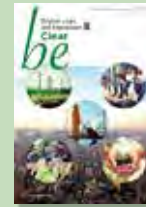


詳細は HP へ



## Clear

- 論 I 717
- 論 II 716
- 論 III 712



著者 : 平賀 正子 立教大学名誉教授  
 : 伊藤 清 名古屋中学校・高等学校教諭  
 : 田中 孝典 静岡県立焼津中央高等学校教諭

鈴木 希明 中京大学特任講師  
 川又 克己 渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭  
 谷口 幸夫 明星大学講師・達セミ Hybrid 代表

萱原 雅弘 元東京家政学院大学教授  
 前中 猛 白陵中学校・高等学校教諭

著者の  
メッセージ

## コミュニケーションにつながる発信力を！

中京大学特任講師 鈴木 希明

### 発信のための基礎力の定着を

「論理・表現」は、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」という3つの領域を中心に、発信力の強化を目指す科目です。

英語で発信できるようにするためには、意味を伝える文をつくる力が必要です。英語の文をつくるために必要なのは、「語彙」と「文法」です。be English Logic and Expression I・II・III Smart/Clearでは、多くの英文と、各レッスンに設定したさまざまなテーマにふれることで、多岐にわたる語彙の習得と、体系的な文法学習ができるようになっています。

英語の文をつくる基礎力とともに、発信に必要な発音や機能表現も学習します。文をつくることができても、正しい発音やイントネーションの知識がなければ、相手に意味が伝わるように話すことはできません。正しい発音を知らないと、相手の話を聞いて理解することもできません。また、自分が伝えたいことを話すだけでは一方通行になってしまいます。

双方向のコミュニケーションを成り立たせるためには、よい聞き手となることも大切です。相手の話の内容について質問したり、感想を述べたり、あいづちなどの機能表現を使ったりして、そこで行われているコミュニケーション活動への意欲や興味を示すことも欠かせないのです。

### 活動を通して発信力強化を

be English Logic and Expression Smart/Clear は、FESTIVAL というシステムで、言語活動を通して英語の基礎力と発信力を養成できるようにしています。

例えば I では、FORMS で英語の形式を理解・定着させ、EXPRESSIONS でコミュニケーションに必要な機能表現を学びます。SOUNDS では話したり聞いたりするときに必要な発音やイントネーションの基礎を確認します。TALK は FORMS, EXPRESSIONS, SOUNDS を確認・定着させるための「話す」練習です。さらに、INTERACTIONS では言語活動をしながら、体系的に英語の形式を身につけ、発信につながるようにします。VOCABULARY は活動の支援となる語彙リストです。システムの最後は ACTIVE LEARNING です。SHARE と WRITE という2つの活動を通して、INTERACTIONS で身につけた発信力をさらに強化します。最後の L は LOGICAL THINKING と LOGICAL WRITING の L でもあります。論理的に考え、論理的に伝えることを意識する習慣をつけるようにします。

このようなシステムによる学習を通して、生徒は英語の基礎力と発信力をつけ、コミュニケーションの意義と楽しさを体験できることでしょう。



# 3つの特長

be Smart

be Clear

1

## ①導入→②定着→③発展の3ユニット構成

①文法を含むモデル会話→②文法解説とTASK→③文法を使った自己発信活動という流れで論理と表現の力が身につきます。



2

## さまざまな活動を網羅した問題

- ・文法のチェック問題 **CHECK** と活動問題 **TASK** の2種類があります。
- ・TASKの活動内容を「やり取り」「発表」「書く」マークでわかりやすく表示しました。

**CHECK** 与えられた語を使って英文を完成させよう。

- The main street \_\_\_\_\_ by a fallen tree yesterday. [ block ]
- The passengers \_\_\_\_\_ about the delay that morning. [ not, inform ]
- A new railway station \_\_\_\_\_

**TASK** 会話例のように一声かけてから、状況に合うように会話を続けよう。

**A:** Excuse me, but was my flight cancelled?  
**B:** We're afraid so. It was due to ...

1 空港のカウンターで搭乗便がキャンセルになったかたずねています。

2 長距離列車の自由席で席が空いているかたずねています。

やり取り 発表 書く

3

## 学習上の目標をわかりやすく表示

文法項目と発信活動の目標を Self-Check として掲載。達成度を評価しながら、目標を意識して学習を進めることができます。

**Self-Check (できることに✓を入れよう)**

- A:** 現在の状態を表すことができる。
- B:** いつもすることを表すことができる。
- C:** している最中のことを表すことができる。
- D:** これからの予定を現在進行形で表すことができる。

**各レッスンの目標**      **セルフチェック欄**

**Self-Check ✓**

インタビューしたクラスメイトを紹介することができた。 [ 2 ] [ 2 ] [ 1 ]

朝の習慣について、時間の流れにそって書くことができた。 [ 3 ] [ 2 ] [ 1 ]

[ 3 ] : よくできた。 [ 2 ] : まあまあできた。 [ 1 ] : あまりできなかった。

セルフチェック欄

各レッスンの目標

# be Smart/Clear I 目次

\* ( ) は Smart でタイトルの異なるレッスン

Smart	Clear	レッスンタイトル	文法	自己発信	配当時間
<b>■ 1st Zone</b> 自分のことや身近な人のことを話す					
1	1	Meeting (New) People	A 現在形 (状態動詞) B 現在形 (動作動詞) C 現在進行形 D 現在進行形・現在形：予定	Introducing Yourself	2
2	2	Holidays and Weekends	A 過去形 B 過去進行形 C 過去形・過去進行形 D used to	Happy Memories	2
3	3	Making Plans	A will B be going to C will be + ing 形 D when や if のあとの現在形	Making Plans	2
4	4	Travel	A 現在完了形：完了・結果 B 現在完了形：経験 C 現在完了形・現在完了進行形：継続 D 現在完了形・過去形	Posting about Travel (Travel)	2
5	5	Study and Activities	A 過去完了形：完了・経験 B 過去完了形・過去完了進行形：継続 C 過去完了形：大過去 D will have + 過去分詞	My Achievements (Study and Activities)	2
<b>■ 2nd Zone</b> 日々の生活のことを話す					
6	6	Food Culture (Food)	A can / be able to B can / can't C may / might D may[might] have + 過去分詞	Food Culture (Food)	2
7	7	School Life	A must / have to B should / had better C must / should D must/should have + 過去分詞	School Rules	2
8	8	Daily Life	A will / would B would often C would D will / can / shall	Special Events (Home)	2
9	9	Transportation Issues	A 受動態の基本形 B 受動態の疑問文 C 進行形・完了形の受動態 D 感情を表す受動態	Road Safety (Transportation Issues)	2
<b>■ 3rd Zone</b> したいことやしていることを話す					
10	10	Future Activities (The Future)	A 不定詞の名詞用法：主語・補語 B 不定詞の名詞用法：目的語 C 疑問詞＋不定詞 D 不定詞の意味上の主語と否定語	Future Activities (The Future)	2
11	11	Staying Healthy	A 不定詞の形容詞用法 B 不定詞の副詞用法：目的 C 不定詞の副詞用法：原因・根拠 D 形容詞＋不定詞	Staying Healthy	2
12	12	New Products	A SVO＋不定詞 B 使役動詞＋名詞＋動詞の原形 C 知覚動詞＋名詞＋動詞の原形 D 不定詞の進行形・受動態・完了形	New Products	2

Smart	Clear	レッスンタイトル	文法	自己発信	配当時間
13	13	Hobbies and Interests	A 動名詞：主語・補語 B 動名詞：目的語 C 動名詞の意味上の主語と否定語 D 動名詞の受動態・完了形	Sharing Interests	2
14	14	The World of Nature	A 分詞の限定用法 B 分詞形容詞 C 分詞の叙述用法 D 分詞を使う表現	The World of Nature	2
15	15	Trouble and Accidents	A SVO+分詞 B 知覚動詞+名詞+分詞 C 分詞構文 D with+名詞+分詞	Reporting News (Trouble and Accidents)	2

■ 4th Zone 説明する・自分の考えを話す

16	16	Inventions (Technology and Invention)	A 関係代名詞：主格 B 関係代名詞：目的格 C 関係代名詞：所有格 D 前置詞と関係代名詞	Developing Ideas (Technology and Invention)	2
17	-	Achievements	A 関係代名詞：非制限用法 B which：節や句が先行詞 C some of which / both of whom D 関係代名詞：what	Achievements	2
18	17	Cities and Towns	A 関係副詞：限定用法 B 関係副詞：非限定用法 C 関係副詞：why / how D 複合関係詞	Cities and Towns	2
19	18	Living Environment	A 原級を使う比較 B 倍数や分数を使う比較 C 比較級を使う比較 D 比較対象の示し方	Comparing Opinions (Living Environment)	2
20	19	Social Problems	A 最上級を使う比較 B 最上級を使う表現 C 原級・比較級の表現 D 比較の表現	Making an Analysis (Social Problems)	2
-	20	Making a Wish	A 仮定法過去 B 仮定法過去完了 C I wish / If only D as if	Making a Wish	2

■ 5th Zone これからの自分や社会のことを話す

21	-	Making a Wish	A 仮定法過去 B 仮定法過去完了 C I wish / If only D as if / It's time	Making a Wish	2
22	-	Cross-cultural Communication	A that / whether B when / because / if C although / though D 接続副詞	Globalization	2
23	-	Giving Opinions	A that 節で使う原形 B so ~ that / so that C It is said that D It is certain that	Giving Opinions	2

Smart のみで学習する文法事項

計 Smart 46  
Clear 40

# be Smart II・III 目次

be Smart II		be Smart III	
レッスンタイトル	文法	レッスンタイトル	文法
<b>1st Zone Daily Life</b>		<b>1st Zone The World Around Us</b>	
1	Future Plans A 現在形 B 過去形 C 完了形 D 未来を表す表現	The Easiest City to Live in	動詞の形を意識する
2	Free Time at Home A 不定詞 (名詞用法) B 動名詞 C 不定詞を使う表現 D 名詞節	The Value of Libraries	動詞に続く要素を確認する
3	Student Life A can と may B must と should C will と would D 助動詞 + have + 過去分詞	Improving Our Town	助動詞を使い分ける
● 活動：スクリプト・ライティング		● 活動：プレゼンテーション	
<b>2nd Zone The Workings of Society</b>		<b>2nd Zone Arts and Entertainment</b>	
4	What You've Learned through Experience A 形容詞の限定用法 B 形容詞の叙述用法 C 分詞の限定用法と叙述用法 D 感情を表す分詞形容詞	Free Time	副詞を適切に使う
5	Modern Conveniences A 名詞 + 形容詞句・前置詞句 B 名詞 + 分詞句 (分詞の限定用法) C 名詞 + 不定詞句 (不定詞の形容詞用法) D 形容詞を使う構文	New Sports and Entertainment	分詞構文で情報を加える
6	The Information Society A 関係代名詞 (限定用法：主格) B 関係代名詞 (限定用法：目的格) C 関係代名詞 (非限定用法) D 関係副詞	Enriching Our Lives	比較表現を効果的に使う
● 活動：スピーチ		● 活動：スピーチ	
<b>3rd Zone The Nature of the Human Mind</b>		<b>3rd Zone Reflecting on the Natural World</b>	
7	Language and Thought A 場所・時・様態を表す副詞 B 程度・頻度・確実性を表す副詞 C 否定の意味を表す副詞 D 文を修飾する・文の意味をつなぐ副詞	A Common Concern	名詞に〈主語 + 動詞〉を続けて説明を加える
8	Emotions and the Workings of the Mind A 不定詞 (副詞用法) B 不定詞を使う表現 C 分詞を使う表現 D 副詞のはたらきをする前置詞句	Maintaining the Ecosystem	関係代名詞や分詞を使って名詞に説明を加える
9	What Exactly Does Leadership Mean? A 時を表す副詞節 B 理由・条件を表す副詞節 C 譲歩を表す副詞節 D 目的・程度を表す表現	A Sustainable Lifestyle	前置詞を使って名詞に説明を加える
● 活動：プレゼンテーション		● 活動：ディベート	
<b>4th Zone Globalization and Identity</b>		<b>4th Zone Economies: Behind the Curtain</b>	
10	Introducing Japan A 原級を使う比較 B 比較級を使う比較 C 最上級を使う比較 D 比較を使う表現	The Evolving Japanese Workforce	動詞に不定詞を続ける
11	Making Innovation Happen A 仮定法過去 B 仮定法過去完了 C wish / if only D 仮定法を使う表現	Inside Fairtrade	不定詞の意味上の主語を示す
12	Embracing Diversity in Society A 要求や必要を表す表現 B 認識の表現・時制の一致 C 詠法 D 時を表す表現	Volunteering to Help	不定詞を形容詞や副詞として使う
● 活動：ディベート		● 活動：プレゼンテーション	
<b>5th Zone Towards a Sustainable Society</b>		<b>5th Zone Language and Identity</b>	
13	Tourism and Japanese Society A 「ある」「いる」の表現 B 「なる」の表現 C 「かかる」の表現 D 「するようになる」の表現	Trends in Studying Abroad	名詞節や副詞節を使う
14	Food and Health A 使役動詞 B 不定詞を使う「させる」の表現 C 分詞を使う「させる・される」の表現 D 知覚動詞	English as an Official Language were to	were to を使って仮定を表す
15	SDGs and Issues Facing the World A 主語の表し方 B 「～すると…になる」の表現 C 「～が…させる」「させない」の表現 D 日本語と違う表し方 (受動態を使う表現)	Understanding Diversity	論理展開をわかりやすく示す
● 活動：ディスカッション		● 活動：ディベート	

# be Clear II・III 目次

be Clear II			be Clear III		
	レッスンタイトル	文法		レッスンタイトル	文法
<b>■ 1st Zone Talking about Yourself</b>			<b>■ 1st Zone Creating an Attractive City</b>		
1	Your Interests	A 現在形・過去形 B 完了形 C 未来を表す表現	A City Worth Visiting	受動態を適切に使う	
2	Your Daily Life	A 不定詞 (名詞用法) B 動名詞 C 名詞節	Our Hometowns	動詞の形を意識する	
3	Your School Life	A can / may / must / should B 推量を表す助動詞 C 助動詞 + have + 過去分詞	What Makes a City Attractive?	話し手がどう思っているかを助動詞で表す	
● 活動: スクリプト・ライティング			● 活動: プレゼンテーション		
<b>■ 2nd Zone Interaction with Society</b>			<b>■ 2nd Zone Forms of Entertainment</b>		
4	Media Literacy	A 形容詞の限定用法と叙述用法 B 分詞の限定用法と叙述用法 C 感情を表す分詞形容詞	How Do You Spend Your Time?	何と何を比べているのか意識する	
5	Helping Others	A 名詞 + 形容詞句・前置詞句 B 名詞 + 分詞句 (分詞の限定用法) C 名詞 + 不定詞句 (不定詞の形容詞用法)	Trying Something New	比較級の前で差の程度を示す	
6	Introducing Your Town	A 関係代名詞 (限定用法) B 関係代名詞 (非限定用法) C 関係副詞	The Art of Translation	副詞や形容詞で程度を表す	
● 活動: スピーチ			● 活動: スピーチ		
<b>■ 3rd Zone The Nature of the Human Mind</b>			<b>■ 3rd Zone Climate Change and Energy Issues</b>		
7	Languages of the World	A さまざまな副詞 B 否定の意味を表す副詞 C 文を修飾する・文の意味をつなぐ副詞	Combatting Climate Change	関係代名詞を使って名詞に説明を加える	
8	Imagining the Future	A 不定詞 (副詞用法) B 不定詞を使う表現 C 分詞を使う表現	Future Energy Sources	分詞で名詞に説明を加える	
9	Happiness and Stress	A 時・理由・条件などを表す副詞節 B 譲歩を表す副詞節 C 目的・程度を表す副詞節	Discussing the Environment	不定詞で名詞に説明を加える	
● 活動: プレゼンテーション			● 活動: ディベート		
<b>■ 4th Zone Globalization and Identity</b>			<b>■ 4th Zone Sustainable Development</b>		
10	Comparing Countries	A 原級を使う比較 B 比較級を使う比較 C 最上級を使う比較・一番を示す表現	Globalization and Immigration	不定詞で「～すること」を表す	
11	Cultural Diversity	A 仮定法過去 B 仮定法過去完了 C wish / if only / as if	What is Fair Trade?	動名詞で「～すること」を表す	
12	Japanese Customs	A 要求・必要を表す表現 B 認識の表現・時制の一致 C 話法	Helping to Fight Poverty	不定詞に副詞のはたらきをさせる	
● 活動: ディベート			● 活動: プレゼンテーション		
<b>■ 5th Zone Towards a Sustainable Society</b>			<b>■ Optional Lessons Language Learning</b>		
13	Population Issues	A 「ある」「いる」の表現 B 「なる」「するようになる」の表現 C 「かかる」の表現	Plurilingualism	—	
14	Rights and Equality	A 使役動詞 B 分詞を使う「させる・される」の表現 C 知覚動詞	The Benefit of Learning a Second Foreign Language	—	
15	Think Globally, Act Locally	A 「～すると…になる」の表現 B 「～が…させる [させない]」の表現 C 日本語と違う表し方 (受動態を使う表現)	English as an Official Language	—	
● 活動: ディスカッション			● 付録: スピーチ		

## be Smart I/II

### ● 1.Start-Up モデル英文を通して、文法と機能表現を学習

レッスンで学ぶ文法と機能表現が含まれたモデル英文

円滑な英会話のヒント

文法の導入

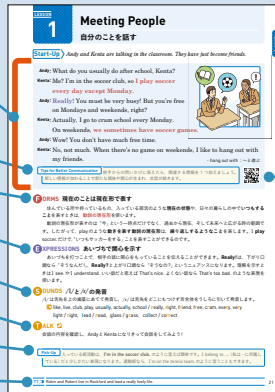
機能表現の解説

発音の学習

会話練習

英語らしい表現の解説

早口言葉の練習



QRコードを読み取ると、音声や発音の動画を確認できます。

◀ I 教科書 p.21

### ● 2.Interactions 8つの例文で文法の形を学び、活動タスクで定着を図る

文法項目 **A** ~ **D** を①~⑧の基本例文で学習します。

Iの例文は参考書『総合英語 be 4th Edition』と完全一致。併用学習が効果的です。

活動を中心としたタスクで知識と技能を身につけます。

活動で用いる3領域「やり取り」「発表」「書く」をアイコンで表示しました。

レッスンのテーマについて発信するのに役立つ語彙・フレーズを紹介



ひと目でわかる文法項目

文法項目の達成目標と自己評価チェックリスト

▶ I 教科書 pp.22-23

### ● 3.Active Learning レッソンのテーマについて自己発信する

達成目標と自己評価

発信するための論理的な考え方を解説



① テーマ文を読む  
② 意見をまとめる  
③ グループワークのステップをふんで、会話・発表の発信を行います。

テーマについて、  
① 穴埋め問題  
② 作文の形式  
で自分の意見を文章で発信します。

◀ I 教科書 p.24

# be Smart III

## ● 1.Start-Up 各課のテーマの導入となる会話やパラグラフを学習



be Smart

**13 Trends in Studying Abroad**  
留学について考える

**Start-Up** *Read and then talk about a summer school program.*

**Read** I heard that you participated in the summer school program that our teacher mentioned last month.

**Listen** It was a bilingual summer and camp. Japanese high school students and exchange students from various countries participated.

**Ask** So, in the camp you spoke English and Japanese?

**That's** right. However, not all the exchange students were native English speakers. Some spoke with an accent in English but it wasn't too hard to understand.

**Well,** that's cross-cultural communication, isn't it? And it's a necessary skill.

**Right.** Japan is becoming more globalized, so we have to work hard at cross-cultural communication.

**The** program sounds interesting. I wish I had applied for it.

**Yeah,** I would like to go again. Maybe when I'm a university student, I can go back as a volunteer.

**Answer** the questions.

**1.** What kind of students participated in the summer school program?  
**2.** What kind of skill did the participants gain?  
**3.** Have you ever had an interesting cross-cultural experience? If so, what was it?

**Form 4** **Expressions** **名詞や動詞を覚える**  
1. **participate** (participated) 参加する  
2. **exchange student** 交換留学生  
3. **summer school** 夏期学校  
4. **program** プログラム  
5. **volunteer** ボランティア  
6. **interview** インタビュー  
7. **interviewee** インタビュイー  
8. **interviewer** インタビュアー  
9. **interviewing** インタビュー中  
10. **interviewed** インタビューされた  
11. **interviewing** インタビューしている  
12. **interviewed** インタビューされた  
13. **interviewing** インタビューしている  
14. **interviewed** インタビューされた  
15. **interviewing** インタビューしている

**Form 5** **Formal** **文章の構成**  
1. **Formal** **文章の構成**  
2. **Formal** **文章の構成**  
3. **Formal** **文章の構成**  
4. **Formal** **文章の構成**  
5. **Formal** **文章の構成**  
6. **Formal** **文章の構成**  
7. **Formal** **文章の構成**  
8. **Formal** **文章の構成**  
9. **Formal** **文章の構成**  
10. **Formal** **文章の構成**  
11. **Formal** **文章の構成**  
12. **Formal** **文章の構成**  
13. **Formal** **文章の構成**  
14. **Formal** **文章の構成**  
15. **Formal** **文章の構成**

- 内容理解
- 文法説明
- 発話の注意点
- 論理展開

活動の基礎となるアイデアや情報を、重要文法事項を含んだ会話やパラグラフで学ぶことができます。

III 教科書 p.85

## ● 2.Interactions 図表を含む資料の内容を CHECK で確認，活動タスクで発信

左頁で  
インプット

**Interactions** **Thinking about studying around the world**

**Global Trends in Studying Abroad**  
Studying abroad has become a valuable experience for young people enrolled in higher education, and prior to the global COVID-19 pandemic, the number of students who study abroad had steadily been increasing in recent years. Studying abroad is an opportunity for students to access high-quality education, acquire skills that may not be taught at home, and get closer to labor markets that offer higher returns on an education. It is seen as a way to improve their opportunities to transmute high-quality job markets. The studying abroad students can broaden their knowledge of other societies and improve their language skills.

**Figure 1. Host Destination for International Students 2020**

Country	Number of Students
USA	1,010,000
UK	610,000
Canada	510,000
Australia	410,000
France	310,000
Germany	210,000
Spain	110,000

**Figure 2. Countries with the Most Foreign Students Studying Abroad 2020**

Country	Number of Students
USA	1,010,000
UK	610,000
Canada	510,000
Australia	410,000
France	310,000
Germany	210,000
Spain	110,000

**Figure 3. Number of Students from Abroad in Japan**

Year	Number of Students
2017	100,000
2018	110,000
2019	120,000
2020	130,000

**Figure 4. Countries of Origin of Foreign Students in Japan 2020**

Country	Number of Students
USA	100,000
UK	80,000
Canada	60,000
Australia	40,000
France	20,000
Germany	10,000
Spain	5,000

**Check** According to the information on the left page, which one of the following is true?  
① The number of students studying abroad around the world had been falling prior to the COVID-19 pandemic.  
② The three most popular study abroad destinations are all English-speaking countries.  
③ China is the only country that ranks both as a destination country and as a country of origin for international students.  
④ The number of foreign students in Japan started to increase in 2020.

**Form 1** Fill in each blank with the appropriate word referring to the information on the left page.  
Studying abroad has become quite popular in recent years. In 2020, the major destinations for international students were the U.S., the U.K., (1) \_\_\_\_\_, and Australia. The number of foreign students in Japan also continued to increase. Students from (2) \_\_\_\_\_ originated for the largest percentage of foreign students in Japan. However, in (3) \_\_\_\_\_, the number demanded due to travel restrictions as a result of the global spread of COVID-19.

**Form 2** According to Figure 1, the most popular destinations for international students were English-speaking countries. In pairs, discuss what the reasons were.

**Form 3** In pairs, discuss what Japan should do in order to attract more students from abroad.

**Form 4** **Formal** **文章の構成**  
1. **Formal** **文章の構成**  
2. **Formal** **文章の構成**  
3. **Formal** **文章の構成**  
4. **Formal** **文章の構成**  
5. **Formal** **文章の構成**  
6. **Formal** **文章の構成**  
7. **Formal** **文章の構成**  
8. **Formal** **文章の構成**  
9. **Formal** **文章の構成**  
10. **Formal** **文章の構成**  
11. **Formal** **文章の構成**  
12. **Formal** **文章の構成**  
13. **Formal** **文章の構成**  
14. **Formal** **文章の構成**  
15. **Formal** **文章の構成**

左頁の内容  
理解を確認

右頁で  
アウトプット

活動タスクに  
役立つ語彙・フ  
レーズを紹介

活動タスクに  
役立つ表現を  
紹介

III 教科書 pp.86-87

## ● 3.Active Learning 自由英作文に無理なく取り組める 4 Step を提案

- Step 1: アイデア出し
- Step 2: アイデアの共有
- Step 3: アイデアの整理
- Step 4: Writing!

**Active Learning**  
**The advantages of learning English.**

**Topic:** What are the advantages of learning English?

**Step 1.** Individually, list three advantages of learning English.

Advantages	Further Details
1. I can communicate with people from other countries.	
2. I can find a better job.	
3. I can travel easily.	

**Step 2.** In groups of four take turns sharing your ideas from Step 1. Fill in the chart above with the ideas of your group members.

**Step 3.** Review the ideas in the chart above. Choose two advantages and add more details.

**Step 4.** Write a 100-150 word essay on the topic. Organize your essay in four parts: 1) Introduction, 2) the advantage to learn English, 3) the second advantage to learn English, and 4) conclusion.

大学入試や英検で出題される、さまざまな形式の自由英作文に対応した Topic をご用意しています。

III 教科書 p.88

# be Clear 構成

## be Clear I/II

### ● 1.Start-Up 会話を通して、文法と機能表現を学習

レッスンで学ぶ文法と機能表現が含まれたモデル英文。

円滑な英会話のヒント

文法の導入

機能表現の解説

発音の学習

会話練習

英語らしい表現の解説



QRコードを読み取ると、音声や発音の動画を確認できます。

◀ I教科書 p.21

# I/III

### ● 2.Interactions 7つの例文で文法の形を学び、活動タスクで定着を図る

文法項目 **A**~**D** を①~⑦の基本例文で学習します。

Iの例文は参考書『総合英語 be 4th Edition』と完全一致。併用学習が効果的です。

文法の確認問題と活動を中心としたタスクで表現力を身につけます。

活動で用いる3領域「やり取り」「発表」「書く」をアイコンで表示しました。

レッスンのテーマについて発信するのに役立つ語彙・フレーズを紹介



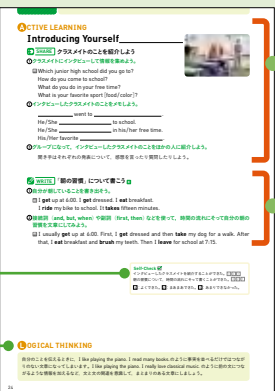
ひと目でわかる文法項目

活用できる機能表現

文法項目の達成目標と自己評価チェックリスト

▶ I教科書 pp.22-23

### ● 3.Active Learning レッソンのテーマについて自己発信する



スモール・ステップで、グループワークを中心とした会話や発表を行います。

テーマについて自分のことや自分の意見を文章で発信します。

達成目標と自己評価

発信するための論理的な考え方を解説

◀ I教科書 p.24



# be Clear III

## ● 1.Start-Up 各課のテーマの導入となる会話やパラグラフを学習



言語活動の基礎となるアイデアや情報を、会話やパラグラフで学ぶことができます。

- 内容理解
- 文法説明
- 発話の注意点
- 論理展開

III 教科書 p.51

## ● 2.Interactions 図表を含む資料の内容を CHECK で確認，活動タスクで発信

左頁で  
インプット

左頁の内容  
理解を確認

活動タスクに  
役立つ語彙・フ  
レーズを紹介

右頁で  
アウトプット

活動タスクに  
役立つ表現を  
紹介

III 教科書 pp.52-53

## ● 3.Active Learning アイデアを整理して SHARE し，WRITE につなげる

Step 1: Organizing アイデアの整理

Step 2: Sharing アイデアの共有

Step 3: Writing

Step 4: Self-Check

さまざまな Topic についてのライティングで論理展開を学ぶ。英検対策にも。

III 教科書 p.60

## ● 生徒用教材 ●

## ■ Workbook I/II/III

・教科書の学習項目を使って表現力を強化するためのワークブック

Smart



I : 本冊 72 頁, 解答・解説書 36 頁 /

II : 本冊 48 頁, 解答・解説書 32 頁 / III : 本冊 80 頁, 解答・解説書 64 頁

Clear



I : 本冊 68 頁, 解答・解説書 36 頁 /

II : 本冊 48 頁, 解答・解説書 24 頁 / III : 本冊 64 頁, 解答・解説書 48 頁

## ■ Grammar Book I/II

・教科書の文法解説と演習問題をより充実させた内容の補助教材

Smart



I : 本冊 128 頁, 解答・解説書 36 頁 / II : 本冊 68 頁, 解答・日本語訳 32 頁

Clear



I : 本冊 120 頁, 解答・解説書 36 頁 / II : 本冊 64 頁, 解答・日本語訳 32 頁

## ■ Essential Grammar Book I

・教科書の例文を使い、文法解説と演習を見開きでコンパクトにまとめた補助教材

Smart



本冊 88 頁, 解答・問題文訳 40 頁

Clear



本冊 80 頁, 解答・問題文訳 36 頁

## My English Portfolio I/II

・教科書の例文を参考にして、自分のことばで英文を書くための書き込み式練習 & 自己表現ストック帳

Smart



I : 本冊 56 頁, 解答書 28 頁 / II : 本冊 40 頁, 解答書 16 頁

Clear



I : 本冊 48 頁, 解答書 24 頁 / II : 本冊 40 頁, 解答書 16 頁



生徒用音声 CD I (各 2 枚組) / II (各 2 枚組) / III (各 2 枚組)

・生徒が予習・復習に使用できる CD

## 指導資料

・授業で活用していただけるさまざまな目的に対応した指導資料 ※ III は 129 のセットになります。

### 指導資料セット I/II/III

- 1 指導書本冊
- 2 Teacher's Book (朱書本)
- 3 補助プリント
- 4 小テスト・評価問題
- 5 指導用データ DVD-ROM

Smart



Clear



DATA

- |   |   |  |
|---|---|--|
| <p>■ DVD 収録内容 (I)</p> <p>① 各課小テスト</p> <p>② 評価問題</p> <p>③ 教科書和訳</p> <p>④ 教科書本文データ</p> <p>⑤ 語順トレーニング (5 文型)</p> <p>⑥ Introduction 練習シート</p> | <p>⑦ Grammar 導入シート</p> <p>⑧ CHECK-TASK ワークシート</p> <p>⑨ SHARE ワークシート</p> <p>⑩ WRITE ワークシート</p> <p>⑪ 例文暗唱シート</p> <p>⑫ VOCABULARY 確認シート</p> <p>⑬ Grammar 練習シート</p> <p>⑭ ディクテーション・シート</p> | <p>⑮ 指導用パワーポイント</p> <p>⑯ シラバス・評価基準 (ループリック)</p> <p>⑰ テストクリエイター</p> <p>⑱ フラッシュカード</p> <p>⑲ 教科書画像データ</p> <p>⑳ 生徒配布用解答</p> <p>㉑ 教科書リスニング問題音声</p> <p>㉒ QR コードリンク先リスト</p> |
|---|---|--|



指導者用音声 CD I (各 8 枚組) / II (各 6 枚組) / III (各 4 枚組)

・各課の例文, リスニング問題, コラムページの音声などを収録

# Harmony

English Logic and Expression I・II・III

論 I 716

論 II 715

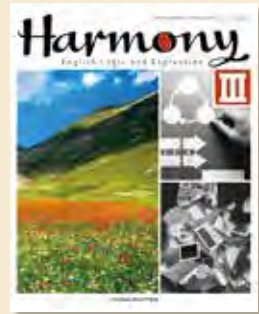
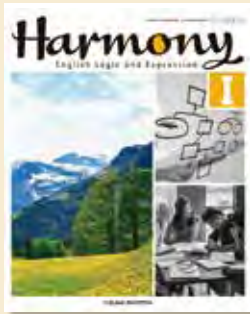
論 III 711

詳細は HP へ ▶



論理・表現 I・II・III

レベル	基礎
判型	AB判
本文 I	128頁
本文 II	112頁
本文 III	104頁



著者	平賀 正子	立教大学名誉教授	鈴木 希明	中京大学特任講師	萱原 雅弘	元東京家政学院大学教授
	伊藤 清	名古屋中学校・高等学校教諭	川又 克己	渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭	前中 猛	白陵中学校・高等学校教諭
	田中 孝典	静岡県立焼津中央高等学校教諭	谷口 幸夫	明星大学講師・達セミ Hybrid 代表		

著者の  
メッセージ

## 高校生に「英語で伝わるよろこび」を！

立教大学名誉教授 平賀 正子

### コミュニケーションの実践を通して、文法力、発表力、文章力を育む学習を

母語でも外国語でも、良好な人間関係をつくっていくには、柔軟なコミュニケーション力が欠かせません。私たちは日常のコミュニケーションを、お互いの人間関係をつくるために行っています。あいさつをしたり、自己紹介をしたりするのも、その一環です。また、すでに人間関係ができている相手とも、その関係を維持したり、さらによくしたりするためのコミュニケーションが必要です。

そうしたなか、「論理・表現」という科目を通じて、高校生に、どのような力を育んでもらえばよいのでしょうか。コミュニケーション能力という観点から学習者の力を引き出し、伸ばしていくことが重要ではないでしょうか。文法は、英語でコミュニケーションを行う場合に必要で、最も基本的な要素の1つです。しかし、文法のルールを知っていても、それだけでうまくコミュニケーションがとれるとはかぎりません。円滑なコミュニケーションを行うためには、相手を理解しようとする態度を示し、実際の状況にできるだけ合致した言い方や応答の仕方を工夫することが大切です。むろん、これは話し言葉でも書き言葉でも当てはまります。このことを学習者が意識すれば、相手に伝わる英語を学ぶことが必要だということがわかり、「通じる」という体験を重ねることによって、人との豊かな人間関係を作っていくことにつながるのです。そして、本当の意味で実用性をもった、コミュニケーションで役に立つ英語学習ができるようになります。

### 高校生に「伝わるよろこび」を味わってほしい

また、「英語が通じる!」「英語で伝わった!」というよろこびは、強いモチベーションとなり、英語を学習する意欲の推進力となります。そのため、英語指導では、評価の仕方も、ただ単に、綴りや文法が当たっているといた部分だけでなく、「通じる」という側面から評価することも重要です。それは、学習者に、英語でコミュニケーションを行うことによる成功体験や伝わるよろこびを味わってほしいからなのです。

Harmony English Logic and Expression I・II・IIIを編集するにあたって、私たちはこのような思いをもって作業に携ってきました。本教科書を通じて、高校生が英語でのコミュニケーションの実践に触れ、文法形式を理解するだけでなく、「英語が通じる!」「英語で伝わった!」という体験を、たくさん重ねていってもらえることを願っています。

# 3つの特長

1

## ①導入→②定着→③発展の3ユニット構成

①文法を含むモデル会話→②文法解説とTask→③文法を使った自己発信活動という流れで論理と表現の力が身につきます。



2

## ワイドな紙面を生かしたイラストと活動

マンガ形式のモデル会話例で自然な表現を楽しく学ぶことができます。また、文法定着のためのTaskには多くのイラストや言い換え可能な箇所の例を示しました。

**ポイント** イラストを参考に、与えられた語句のまとまりを適切な接続詞でつなぎ、未来のことを表す文をつくってみよう。下線部の動詞は原形なので、必要に応じて正しい形に変えること。

(例) You will win the game if you do your best.  
If you do your best, you will win the game.

you do your best / the weather be bad / it get dark / you finish your homework  
before / if / when ※複数回使用可

you win the game

come home

we cancel the picnic

Let's play video games

3

## 学習上の目標をわかりやすく表示

文法項目と発信活動の目標を SELF-CHECK として掲載。達成度を評価しながら、目標を意識して学習を進めることができます。

**SELF-CHECK** 到達度を自己評価してみよう

- A 自分や身近な人・ものの現在の状態を伝えることができる。(現在形 | 状態動詞)
- B 自分や身近な人がいつもすることを伝えることができる。(現在形 | 動作動詞)
- C 今している最中のことを伝えることができる。(現在進行形)
- Expressions 相手の話の内容に合わせて適切なあいづちを打つことができる。

セルフチェック欄

各レッスンの目標

**SELF-CHECK** 到達度を自己評価してみよう ③...◎、②...○、①...△

- 自分のことを説明する英文を書くことができた。
- 示された展開にそって自己紹介をすることができた。
- グループのメンバーとアイコンタクトをとりながら話すことができた。

セルフチェック欄

③	②	①
③	②	①
③	②	①

# Harmony I・II・III 目次

## I

レッスンタイトル	文法
<b>■ 1st Zone 自分のことや身近な人のことを話す</b>	
1 Meeting New People	A 現在形 (状態動詞) B 現在形 (動作動詞) C 現在進行形 (am/are/is -ing)
2 Last Weekend	A 過去形 (状態動詞・動作動詞) B 過去進行形 (was/were -ing) C 現在とは異なる過去の習慣・状態
3 Weekend Plans	A (will + 動詞の原形) B (be going to + 動詞の原形) C (When/If + 主語 + 現在形, ...)
4 A Short Trip	A 現在完了形 (完了・結果) B 現在完了形 (経験) C 現在完了形・現在完了進行形 (継続)
<b>■ 2nd Zone 日々の生活のことを話す</b>	
5 School Rules	A can/be able to/may B must/have to/should C Will you ...?
6 Are You All Right?	A can/may (可能性・推量) B must/should (確信・推測) C (助動詞 + have + 過去分詞)
7 Things Japanese	A 受動態 (be + 過去分詞) B 受動態の疑問文 C (be + 過去分詞 + by 以外の前置詞)
<b>■ 3rd Zone したいことやしていることを話す</b>	
8 Talking about Dreams	A 不定詞 (名詞用法   主語・補語) B 不定詞 (名詞用法   目的語) C 不定詞の主語・否定形
9 To Keep Fit	A 不定詞 (形容詞用法) B 不定詞 (副詞用法   目的) C 不定詞 (副詞用法   原因・根拠)
10 Our Future Devices	A (動詞 + 人 + to do) B 使役動詞 C 知覚動詞
11 Talking about Likes and Dislikes	A 動名詞 (主語・補語) B 動名詞 (目的語) C 動名詞の主語・否定形
12 Reporting Something Unusual	A 分詞 (限定用法) B 分詞形容詞 C 分詞 (叙述用法)
13 Being in Trouble	A (get/have + 名詞 + 過去分詞) B (see/hear + 名詞 + 分詞) C 分詞構文
<b>■ 4th Zone 説明する・自分の考えを話す</b>	
14 Great Achievements	A 関係代名詞 (主格) B 関係代名詞 (目的格) C 関係代名詞 (what)
15 What's SDGs?	A 関係副詞 (where) B 関係副詞 (when) C 関係副詞 (why/how)
16 Climate Change	A 比較   原級 B 比較   倍数・分数表現 C 比較   比較級
17 Food Waste	A 比較   最上級 B 比較   最上級を使う表現 C 比較   比較を使う表現
18 Water Problem	A 仮定法過去 B (wish / if only + 仮定法) C (as if / It's time + 仮定法)

## II

レッスンタイトル	
<b>■ 1st Zone</b>	
1	During Spring Vacation
2	My Favorite Star
3	My Career Path
4	Talking about Japanese Culture
<b>■ 2nd Zone</b>	
5	Disaster Prevention
6	Town Planning
7	Foods and Culture
8	ICT and Universal Design
<b>■ 3rd Zone</b>	
9	World Peace
10	Volunteering Abroad
11	Health and Lifespan
12	If the World Were ...
<b>■ 4th Zone</b>	
13	Culture and Perception
14	World News
15	Be Yourself



文法
<b>Talking about Your Daily Life</b>
<p>A 現在形 B 過去形・used to C 未来のことを表す表現</p> <p>A 現在完了形 (完了・結果、経験) B 現在完了形 (継続) C 過去完了形 (完了・結果、経験、継続)</p> <p>A can/may (可能・可能性・推量) B must/should (義務・望ましい行動・推量) C (助動詞 + have + 過去分詞)</p> <p>A 受動態 (be + 過去分詞) B 助動詞を含む受動態、受動態の完了形 C (be + 過去分詞 + by 以外の前置詞)</p>
<b>Interaction with Society</b>
<p>A 不定詞 (名詞用法) B 不定詞 (形容詞用法) C 不定詞 (副詞用法)</p> <p>A (形容詞 + 不定詞) B (seem + 不定詞) C 程度を表す不定詞</p> <p>A 動名詞 B 動名詞の完了形・受動態 C 不定詞と動名詞</p> <p>A 分詞 (限定用法・分詞形容詞) B (SVO + 分詞) C 付帯状況・分詞構文</p>
<b>Globalization and Identity</b>
<p>A 関係代名詞 (主格・目的格) B 関係代名詞 (what) C 関係代名詞 (非限定用法)</p> <p>A 関係副詞 (where/when) B 関係副詞 (why/how) C 関係副詞 (非限定用法)</p> <p>A 比較 (原級・比較級・最上級) B 差・倍数の表現 C 比較を使う表現</p> <p>A 仮定法過去・仮定法過去完了 B 過去のこと + 現在のこと C 仮定を表す表現</p>
<b>Perception and Communication</b>
<p>A hardly/rarely B 部分否定・全否定 C 付加疑問・間接疑問</p> <p>A 時制の一致 B 直接話法・間接話法 C (ask + 人 + if/whether ... / ask + 人 + to do)</p> <p>A (insist/demand (that) + 主語 + (should +) 動詞の原形) B 無生物主語の構文 C 強調構文</p>

レッスンタイトル	文法・活動
1 My Hometown	文法 関係詞
2 The Place I'd Like to Live	文法 不定詞・前置詞句
3 Designing "Future Cities"	活動 プレゼンテーション
4 Refreshing Our Minds and Bodies	文法 形容詞・副詞
5 Study Struggles	文法 比較
6 Choosing a Career Path	活動 スピーチ
7 Extreme Weather around the World	文法 動詞の時制
8 Working to Solve Energy Problems	文法 関係詞
9 For the Future of Our Planet	活動 ディベート
10 What's Ethical Shopping?	文法 接続詞・接続表現
11 Global Economic Inequality	文法 仮定法
12 Sustainable Economic Growth	活動 プレゼンテーション
13 Why We Learn Foreign Languages	文法 強調構文・倒置
14 Communication in the Digital Age	文法 省略
15 Online Learning	活動 ディベート

- Harmony I は時制～仮定法までの基本的な文法項目を網羅。
- Harmony II は I と同様の文法配列で、I の未習項目 (過去完了、関係詞の非限定用法など) + 発展項目を追加。
- Harmony III は3レッスン (表現のための文法2レッスン+大きな活動1レッスン) を1つの Zone として構成。

# Harmony I・II・III 構成

## I/III

### Harmony I・II

#### ● 1.Start-Up 会話を通して、文法と機能表現を学習

高校生によるモデル会話。  
レッスンで学ぶ文法と機能  
表現が含まれています。

円滑な英会話のヒント

文法の導入

機能表現の解説

発音の学習

会話練習



QRコードを読み取ると、音声  
や発音の動画を  
確認できます。

◀ I教科書 p.19

#### ● 2.Interactions 6～10の例文で文法の形を学び、活動タスクで定着を図る

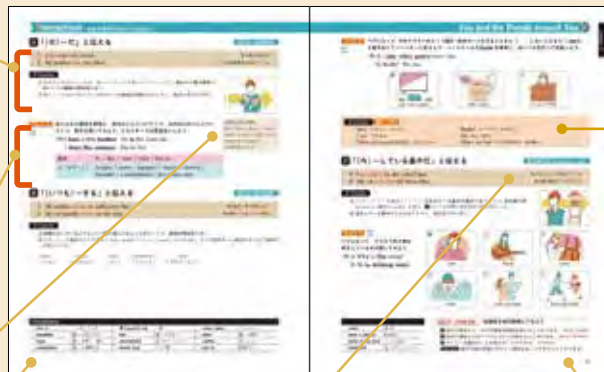
文法項目[A]～[C]を①～⑩の基本  
例文で学習します。

Iの例文は参考書『総合英語  
Harmony New Edition』と完  
全一致。併用学習が効果的です。

豊富な参考語句を使って演習  
することで、学んだ文法知識  
が確実に身につきます。

知っておきたいプラスαのミニ知識

レッスンのテーマについて発信する  
のに役立つ語彙・フレーズを紹介



機能表現  
の応用

◀ I教科書 pp.20-21

各項目で扱う文法項目がす  
ぐにわかるようにしました。

文法項目と機能表現の達成目  
標と自己評価チェックリスト

#### ● 3.Active Learning レッソンのテーマについて自己発信する

テーマについて自分のこと  
や自分の意見を文章で発信  
します。

ステップを踏んで、ペアワ  
ークやグループワークを通し  
て発話の実践を行います。

達成目標と自己評価



論理的な文章を書くため  
のヒント

◀ I教科書 p.22



# Harmony III

## 1.Start-Up

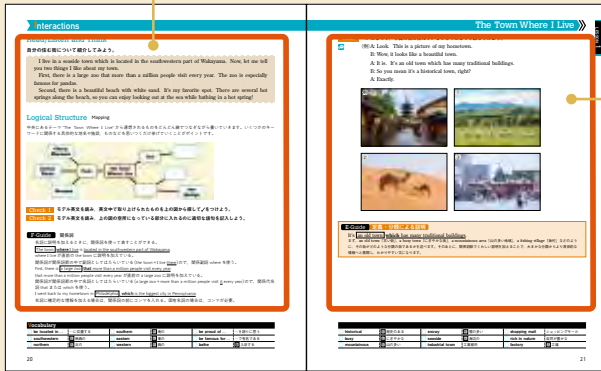
説明・分析、比較・対照、問題解決など、トピックに応じた論理構造を解説し、生徒の表現活動をサポートします。



III 教科書 p.19

## 2.Interactions

モデル英文が示され、論理構造や重要文法の解説＋確認問題を掲載しています。



III 教科書 pp.20-21

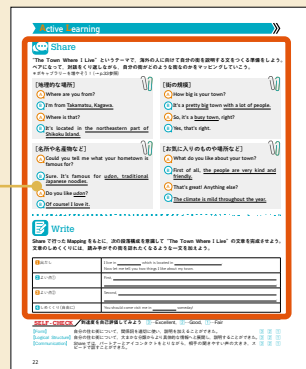
3レッスンを1ユニット (Zone) として、コンパクトな活動から大きな活動へと段階的に進められます。

- 例) 1st Zone (LESSON 1～3)  
トピック：住環境と都市計画
- LESSON 1 写真について説明するペアワーク
- LESSON 2 トピックに関する2つの意見を読んで、賛成／反対の意見を述べるペアワーク
- LESSON 3 トピックに関するプレゼンテーション

## 3.Active Learning

話す活動 (Share) と書く活動 (Write) をセットにして、段階を踏みながら発信へとつなげていきます。プレゼンテーションやディベートを行うレッスンでは、Write and Shareとして話したことをレポート等にまとめます。

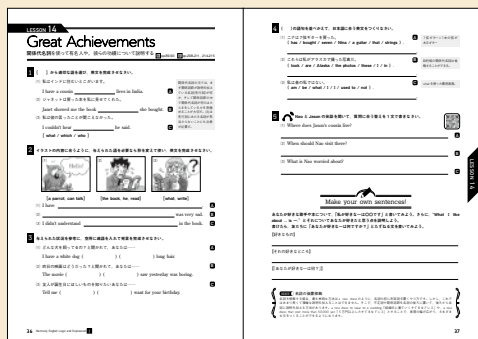
- 例) 1st Zone (LESSON 1～3) トピック：住環境と都市計画
- LESSON 1 自分が住んでいる町について説明する
- LESSON 2 自分が住んでみたい町について説明する
- LESSON 3 プレゼンテーションをポスターにまとめる



III 教科書 p.22

## Harmony I 準拠

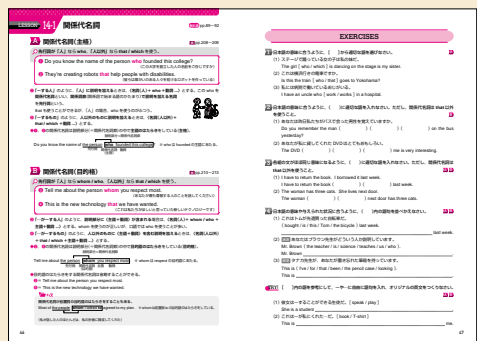
### ① All-in-One Workbook I



- 教科書で扱った文法事項で構成
- 活動につながる自由英作文も収録
- 各レッスンにリスニング問題を掲載  
音声再生アプリ「いいずなボイス」対応

- 本冊 (48 頁)
  - ・実践的な文法演習問題を掲載
  - ・新課程型のイラスト問題を収録
  - ・豊富なヒントで自学習をサポート
- 解答・解説書 (32 頁)
- 書きこみ式ノート (40 頁)
  - ・教科書の例文 + 語い確認
  - ・教科書 Task のヒント + 解答欄

### ② Grammar Book I



- 教科書で扱った文法事項 + 発展項目で構成

- 本冊 (80 頁)
  - ・左頁：教科書の例文 + 詳細な文法解説
  - ・右頁：実践的な文法演習問題
- 解答・解説書 (44 頁)

### ③ 生徒用音声 CD I (2 枚組)

- 生徒が予習・復習に使用できる CD  
教科書のモデル会話 (Start-Up), 例文 (Interactions) などの英文を収録

## Harmony II 準拠

### ① All-in-One Workbook II (別冊 Grammar Book 付き)

- All-in-One Workbook (48 頁)
  - 音声再生アプリ「いいずなボイス」対応
- All-in-One Workbook 解答・解説書 (28 頁)
- 別冊 Grammar Book (40 頁)
- Grammar Book 解答・解説書 (24 頁)

### ② 生徒用音声 CD II (2 枚組)

## Harmony III 準拠

### ① All-in-One Workbook III (本冊 64 頁, 解答・解説書 32 頁)

### ② 生徒用音声 CD III (2 枚組)

## 指導資料セット I / II / III ※ III は①②③のセットになります。

### 1 指導書本冊

※単体 (PDF) での販売もあります。

指導の際の指針、授業の展開案、文法の解説など、教科書を使いこなすための情報が満載です。

### 2 Teacher's Book (朱書本)

※単体での販売もあります。

教科書の紙面に解答 (例)、英語の指示文、指導用音声 CD のトラック番号などの情報を掲載しました。

### 3 補助プリント

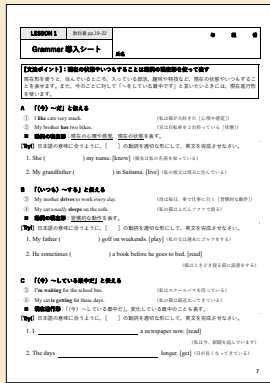
Grammar 導入シート / Introduction 練習シート / Share 活動シート / Write 活動シート

### 4 小テスト・評価問題

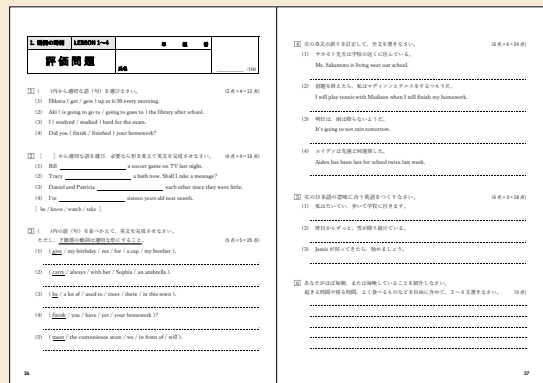
各課小テスト / 各単元の評価問題  
※評価問題解答には観点 (知識・技能または思考力・判断力・表現力) を記載

### 5 指導用データ DVD-ROM

ワークシート各種のほか、授業用パワーポイントやフラッシュカード、テストクリエイターを収録



3 補助プリント  
Grammar 導入シート



4 小テスト・評価問題  
評価問題

### 5 指導用データ DVD-ROM 収録内容

- ① 各課小テスト
- ⑧ Grammar 導入シート
- ※ ⑮ 語順トレーニング (5 文型)
- ② 評価問題
- ⑨ Grammar 練習シート
- ⑬ 指導用パワーポイント & フラッシュカード
- ③ 各課和訳
- ⑩ 例文暗唱 & Vocabulary シート
- ⑭ シラバス・評価規準 (ループリック)
- ④ 教科書本文 Word データ
- ⑪ Share 活動シート
- ⑯ テストクリエイター
- ⑤ 教科書解答・解答例
- ⑫ Write 活動シート
- ⑰ テストクリエイター
- ⑥ ディクテーション・シート
- ※ ⑬ Keep Talking 活動シート
- ⑱ QR コードリンク先 URL 一覧
- ※ ⑦ Introduction 練習シート
- ⑭ ～してみよう! 活動シート
- ※ のデータは 1 のみに収録されています。



### 指導者用音声 CD I (8 枚組) / II (6 枚組) / III (4 枚組)

各課のモデル会話と例文 (英語、日本語 + ポーズ)、活動の英語指示文、モデル英文の音声などを収録

# I・II・III 「デジタル教科書 (教材)」 「デジタル教科書」

## パソコンやタブレットで教科書を表示

### ① 頁の拡大・縮小

ピンチアウトまたはボタンで紙面を拡大することができます。

### ② 目次を表示

教科書の目次に戻ります。

### ③ しおり

後から読み直したい頁に名前を付けて、しおりをはさむことができます。

### ④ CHECK 問題アイコン

アイコンをクリックするとポップアップ画面が開き、問題と解答が表示されます。

### ⑤ 参考書リンク

総合英語 be または Harmony の該当頁の PDF が表示されます。

### ⑥ 音声再生ボタン

ボタンをクリックすると、例文やリスニング問題の音声再生されます。

### ⑦ 書き込み

ペン・マーカー・スタンプを使って紙面に書き込みができます。

### ⑧ スクロールバー

頁の移動に使用します。



### 指導者用

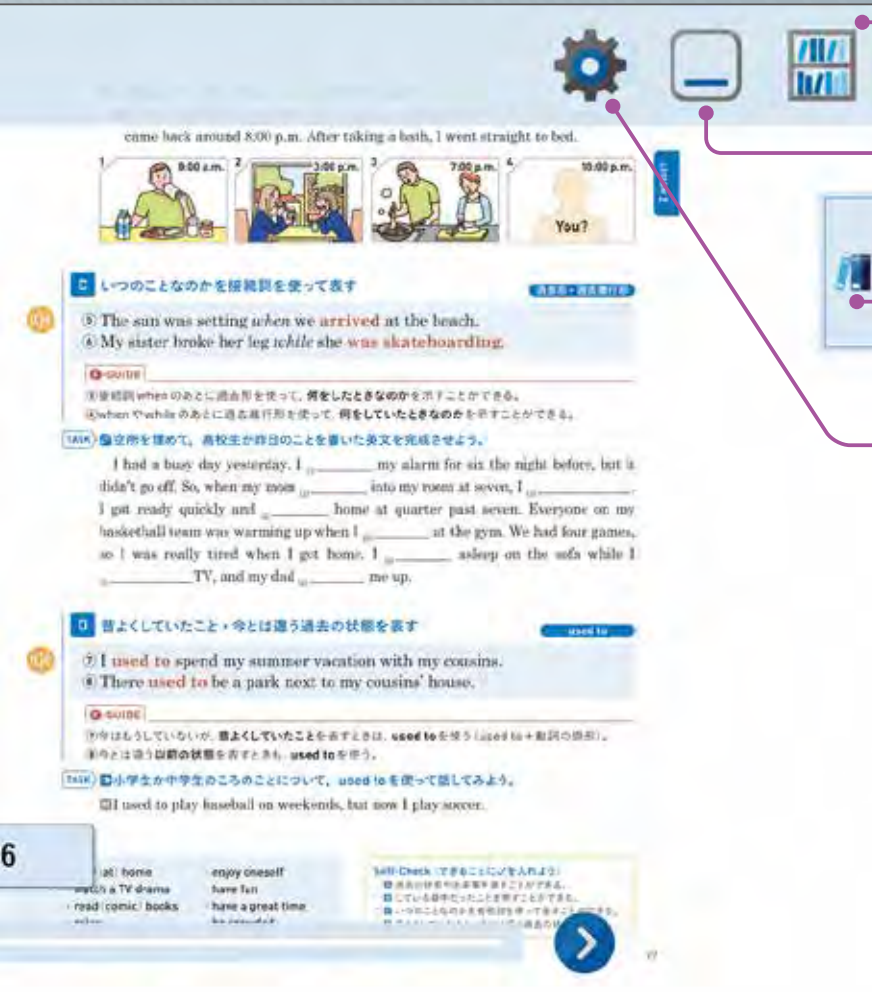
- ・アプリ版またはクラウド版
- ・校内フリーライセンス
- ・利用期間：5年間

### 学習者用

- ・クラウド版のみ
- ・1人1ライセンス
- ・利用期間：2年間

be Smart/Clear Harmony	指導者用	学習者用 (I・IIのみ)	
	デジタル教科書 (教材)	デジタル教科書 (教材)	デジタル教科書
基本機能 (拡大・縮小、書き込みなど)	○	○	○
音声・スクリプト (Start-Up, 基本例文, リスニング問題)	○	○	—
対応参考書 該当頁の表示	○	○	—
設問の解答表示	○	—	—
利用方式	アプリまたはクラウド	クラウド	クラウド
納品形式	アプリ：DVD-ROM 納品 クラウド：ライセンス配布	ライセンス配布	ライセンス配布

# 拡大・書き込みなどの機能も充実



⑨ 本棚に戻る  
Lentrance のトップ画面に戻ります。

⑩ 最小化  
デジタル教科書を最小化します。

⑪ 別の本を開く  
本棚に戻らずに、教科書や資料を切り替えることができます。

⑫ 閲覧設定  
紙面の配色や明るさなどを調整することができます。

デジタル関連教材

\*上記は be 論理・表現 I Smart の画面です。Clear, Harmony, New Rays も基本的な操作方法は同じです。New Rays には④～⑥の機能はありません。

New Rays	指導者用 (シンプル版)	学習者用 (I・II のみ)
	デジタル教科書	デジタル教科書
基本機能 (拡大・縮小、書き込みなど)	○	○
QR コードの音声再生リンク *インターネットへの接続が必要です。	○	○
音声・スクリプト (I は課末 Recap & Retell 問題□のみ)	○	—
利用方式	アプリまたはクラウド	クラウド
納品形式	アプリ：DVD-ROM 納品 クラウド：ライセンス配布	ライセンス配布

\* New Rays には「学習者用デジタル教科書 (教材)」のご用意はありません。

動作環境		
端末	アプリ方式	クラウド方式
WindowsPC	○	○
Windows タブレット	Windows 8.1 以降	Chrome/Edge
iPad	○	○
	iOS 12 以降 / iPadOS	Safari
Chromebook	—	○
		Chrome

**アプリ方式とクラウド方式の違い**

**アプリ方式**  
端末にビューアのアプリをインストールしてデジタル教科書を利用するため、オフラインでの使用が可能。iPad の場合、App Store からアプリのダウンロードが必要。

**クラウド方式**  
Web ブラウザを使ってデジタル教科書を利用するため、校内 LAN の環境が必要。端末にアプリをインストールする必要はありません。

## ● be Smart/Clear Harmony ●

### 授業・指導内容に合わせて自由に改変できるフレキシブルさが魅力

教科書の本文再生、単語のフラッシュカードなどの機能を収録。授業内容に合わせて、スライドを追加・削除することができるので、生徒さんに適した効果的な授業ができます。

#### 主な収録内容

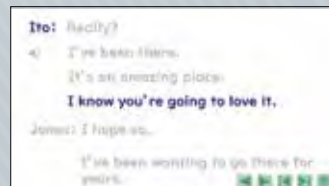
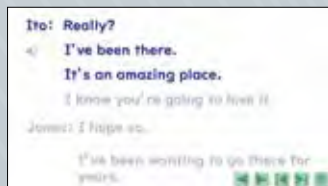
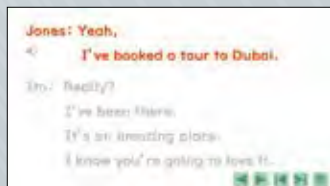
各課 1 枚目の目次のスライドから、使用項目を選択できます。

※例は be Clear I になります。  
収録内容や仕様は教科書によって異なります。

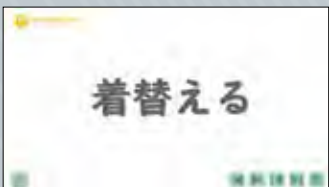
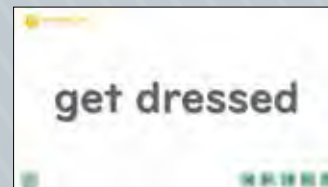
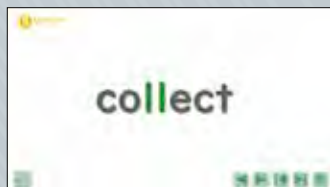


**Start-Up** 導入の会話をカラオケ表示で確認できます (自動再生)。

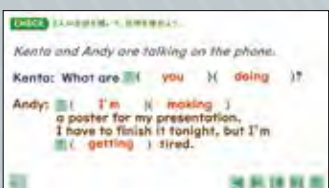
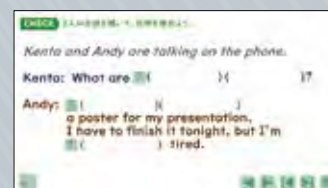
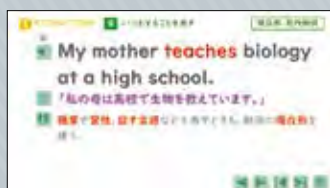
**TALK** 冒頭の会話をネイティブスピーカーのあとに続いて練習 (Repeat) したり、ロールプレイング (Practice) したりできます。



**SOUNDS / VOCABULARY** 発音や単語をフラッシュカードで練習できます。スライドは 3 秒ごとに自動で切り替わります。



**INTERACTIONS** 基本例文と解説。CHECK/TASK 問題の解答が表示され、音声を聞くこともできます。



## New Rays

### 各レッスンの内容

各レッスンの1枚目に目次のスライドがあり、学習内容に合わせて簡単に該当項目のスライドを選択できます。

#### INTRODUCTION

(各課 Part 1 のみ)

各課の導入に使っていただける写真や資料をご用意しました。Teacher's Book の指導案と連動しています。



#### LISTEN

各パートの英文を最初にまとめて聞かせる活動に使っていただけます。

#### NEW WORDS & EXPRESSIONS

教科書の新語とイディオムのフラッシュカードです。1つの新語には、「英単語＋日本語」「英単語」「発音記号」「日本語」の4種類のスライドがあります。スライドは3秒で切り替わります。



#### TEXT

英文を1文ごとに示し、音声をつけました。

#### CHUNK READING

音声に合わせて英語と日本語をチャンクごとに表示します。英文の主語をピンクで、動詞を青で示しました。

#### COMPREHENSION CHECK

教科書本文の内容理解の質問とその解答例が表示されます。

#### Think/Pair/Share

教科書の自己発信質問とその解答例が表示されます。

## 教材一覧

Ⅲ	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ		
	New Rays Ⅲ	be Smart Ⅲ	be Clear Ⅲ	Harmony Ⅲ
指導用	指導資料セット (指導用パワーポイント含む)	2分冊＋DVD-ROM 定価 33,000円 (本体 30,000円＋税)	2分冊＋DVD-ROM Smart/Clear 定価 (各) 31,900円 (本体 29,000円＋税)	2分冊＋DVD-ROM 定価 31,900円 (本体 29,000円＋税)
	Teacher's Book (朱書本)	※指導資料セットの単体での販売 定価 6,600円 (本体 6,000円＋税)	Smart/Clear ※指導資料セットの単体での販売 定価 (各) 4,400円 (本体 4,000円＋税)	※指導資料セットの単体での販売 定価 4,400円 (本体 4,000円＋税)
	指導書本冊 PDF	※指導資料セットの単体 (PDF) での販売 定価 5,500円 (本体 5,000円＋税)	Smart/Clear ※指導資料セットの単体 (PDF) での販売 定価 (各) 5,500円 (本体 5,000円＋税)	※指導資料セットの単体 (PDF) での販売 定価 5,500円 (本体 5,000円＋税)
	指導用音声 CD	10枚組 定価 18,700円 (本体 17,000円＋税)	各4枚組 Smart/Clear 定価 (各) 16,500円 (本体 15,000円＋税)	4枚組 定価 14,300円 (本体 13,000円＋税)
	指導用デジタル教科書(教材) [アプリ版]	定価 13,200円 (本体 12,000円＋税)	Smart/Clear 定価 (各) 29,700円 (本体 27,000円＋税)	定価 29,700円 (本体 27,000円＋税)
	指導用デジタル教科書(教材) [クラウド版]	定価 13,200円 (本体 12,000円＋税)	Smart/Clear 定価 (各) 29,700円 (本体 27,000円＋税)	定価 29,700円 (本体 27,000円＋税)
学習者用	生徒用音声 CD	2枚組 定価 1,320円 (本体 1,200円＋税)	各2枚組 Smart/Clear 定価 (各) 330円 (本体 300円＋税)	2枚組 定価 330円 (本体 300円＋税)
	準拠問題集	WORKBOOK 定価 825円 (本体 750円＋税)	Workbook Smart/Clear Smart : 定価 770円 (本体 700円＋税) Clear : 定価 715円 (本体 650円＋税)	All-in-One Workbook 定価 693円 (本体 630円＋税)

\* 上記の内容は 2024年4月現在のものです。掲載されている仕様は予告なしに変更することがあります。

# 教材一覧

※Ⅲの教材一覧は p.39 に掲載

I		英語コミュニケーション I	論理・表現 I		
		New Rays I	be Smart I	be Clear I	Harmony I
指導用	指導資料セット (指導用パワーポイント含む)	4分冊+ DVD-ROM 定価 22,000 円 (本体 20,000 円+税)	4分冊+ DVD-ROM Smart/Clear 定価(各) 22,000 円 (本体 20,000 円+税)		4分冊+ DVD-ROM 定価 22,000 円 (本体 20,000 円+税)
	Teacher's Book (朱書本)	※指導資料セットの単体での販売 定価 5,500 円 (本体 5,000 円+税)	Smart/Clear ※指導資料セットの単体での販売 定価(各) 3,850 円 (本体 3,500 円+税)		※指導資料セットの単体での販売 定価 3,850 円 (本体 3,500 円+税)
	指導書本冊 PDF	※指導資料セットの単体 (PDF) での販売 定価 5,500 円 (本体 5,000 円+税)	Smart/Clear ※指導資料セットの単体 (PDF) での販売 定価(各) 5,500 円 (本体 5,000 円+税)		※指導資料セットの単体 (PDF) での販売 定価 5,500 円 (本体 5,000 円+税)
	指導用音声 CD	12 枚組 定価 16,500 円 (本体 15,000 円+税)	各 8 枚組 Smart/Clear 定価(各) 16,500 円 (本体 15,000 円+税)		8 枚組 定価 14,300 円 (本体 13,000 円+税)
	デジタル教科書 (教材) [アプリ版]	定価 11,000 円 (本体 10,000 円+税)	Smart/Clear 定価(各) 27,500 円 (本体 25,000 円+税)		定価 27,500 円 (本体 25,000 円+税)
	デジタル教科書 (教材) [クラウド版]	定価 11,000 円 (本体 10,000 円+税)	Smart/Clear 定価(各) 27,500 円 (本体 25,000 円+税)		定価 27,500 円 (本体 25,000 円+税)
学習者用	生徒用音声 CD	2 枚組 定価 1,100 円 (本体 1,000 円+税)	各 2 枚組 Smart/Clear 定価(各) 550 円 (本体 500 円+税)		2 枚組 定価 550 円 (本体 500 円+税)
	デジタル教科書 [クラウド版]	定価 1,100 円 (本体 1,000 円+税)	Smart/Clear 定価(各) 1,100 円 (本体 1,000 円+税)		定価 1,100 円 (本体 1,000 円+税)
	デジタル教科書 (教材) [クラウド版]	-	Smart/Clear 定価(各) 2,200 円 (本体 2,000 円+税)		定価 2,200 円 (本体 2,000 円+税)
	準拠問題集	WORKBOOK Standard 定価 737 円 (本体 670 円+税)	Workbook (表現型) Smart/Clear 定価(各) 682 円 (本体 620 円+税)		All-in-One Workbook 定価 682 円 (本体 620 円+税)
		WORKBOOK Advanced 定価 803 円 (本体 730 円+税)	Grammar Book (文法型) Smart/Clear 定価(各) 737 円 (本体 670 円+税)		Grammar Book (文法型) 定価 682 円 (本体 620 円+税)
		Listening WORKBOOK 定価 803 円 (本体 730 円+税)	Essential Grammar Book Smart/Clear 定価(各) 693 円 (本体 630 円+税)		-
		学習ノート 定価 737 円 (本体 670 円+税)	My English Portfolio Smart/Clear 定価(各) 275 円 (本体 250 円+税)		-
II		英語コミュニケーション II	論理・表現 II		
		New Rays II	be Smart II	be Clear II	Harmony II
指導用	指導資料セット (指導用パワーポイント含む)	4分冊+ DVD-ROM 定価 30,800 円 (本体 28,000 円+税)	4分冊+ DVD-ROM Smart/Clear 定価(各) 29,700 円 (本体 27,000 円+税)		4分冊+ DVD-ROM 定価 29,700 円 (本体 27,000 円+税)
	Teacher's Book (朱書本)	※指導資料セットの単体での販売 定価 6,600 円 (本体 6,000 円+税)	Smart/Clear ※指導資料セットの単体での販売 定価(各) 4,400 円 (本体 4,000 円+税)		※指導資料セットの単体での販売 定価 4,400 円 (本体 4,000 円+税)
	指導書本冊 PDF	※指導資料セットの単体 (PDF) での販売 定価 5,500 円 (本体 5,000 円+税)	Smart/Clear ※指導資料セットの単体 (PDF) での販売 定価(各) 5,500 円 (本体 5,000 円+税)		※指導資料セットの単体 (PDF) での販売 定価 5,500 円 (本体 5,000 円+税)
	指導用音声 CD	12 枚組 定価 18,700 円 (本体 17,000 円+税)	各 6 枚組 Smart/Clear 定価(各) 16,500 円 (本体 15,000 円+税)		6 枚組 定価 14,300 円 (本体 13,000 円+税)
	デジタル教科書 (教材) [アプリ版]	定価 11,000 円 (本体 10,000 円+税)	Smart/Clear 定価(各) 27,500 円 (本体 25,000 円+税)		定価 27,500 円 (本体 25,000 円+税)
	デジタル教科書 (教材) [クラウド版]	定価 11,000 円 (本体 10,000 円+税)	Smart/Clear 定価(各) 27,500 円 (本体 25,000 円+税)		定価 27,500 円 (本体 25,000 円+税)
学習者用	生徒用音声 CD	2 枚組 定価 1,320 円 (本体 1,200 円+税)	各 2 枚組 Smart/Clear 定価(各) 660 円 (本体 600 円+税)		2 枚組 定価 660 円 (本体 600 円+税)
	デジタル教科書 [クラウド版]	定価 1,100 円 (本体 1,000 円+税)	Smart/Clear 定価(各) 1,100 円 (本体 1,000 円+税)		定価 1,100 円 (本体 1,000 円+税)
	デジタル教科書 (教材) [クラウド版]	-	Smart/Clear 定価(各) 2,200 円 (本体 2,000 円+税)		定価 2,200 円 (本体 2,000 円+税)
	準拠問題集	WORKBOOK Standard 定価 759 円 (本体 690 円+税)	Workbook (表現型) Smart/Clear 定価(各) 550 円 (本体 500 円+税)		All-in-One Workbook ※別冊 Grammar Book 付き 定価 825 円 (本体 750 円+税)
		WORKBOOK Advanced 定価 825 円 (本体 750 円+税)	Grammar Book (文法型) Smart/Clear 定価(各) 605 円 (本体 550 円+税)		-
Listening WORKBOOK 定価 803 円 (本体 730 円+税)		My English Portfolio Smart/Clear 定価(各) 242 円 (本体 220 円+税)		-	
学習ノート 定価 792 円 (本体 720 円+税)		-		-	

\*本冊子に掲載されているQRコードは (株)デンソーウェーブの登録商標です。